364
303

始

364-303

マスター、オブ、アーツ 長谷川新一郎著

墨國一覧

帝國圖書館藏

大正
6. 10 16
内交

レイダー博士の序

長谷川君、余は君が墨國に關する著述を歡迎し、一言を添へる事を光榮とす、そは此書の吾が同胞を益する事を知ればなり。

墨國が將來日本人の理想的發展地たる可き理由少なからず、今其二三を擧げんに、第一は氣候が日本と等しき所多き事にして、第二は墨國の山川湖水瀑布等が吾が島國の地形に似て居る事なり、然しながら之れより重大なる第三は、墨國研究者の多くが日墨兩國民は元來同人種より別れたるものならんと信ぜざるを得ざる程に兩人種間に似たる點の多き事なり。

墨國現今の内亂は此國を世界に廣告するの媒介者となれり。世界の人は此憐む可き國は世界に於て最も天然の富源に滿ちたる國なる事を知るに至れり。されば内亂鎭定し再び平和の事業の起る可き時に至らば、各國民は爭うて此國に移住し、此疲弊したる國民に新血液を注入し、新事業を勃興し、大活動をなす事明なり。

余は墨國に住せし事十六年、其間多くの日本人を知り、彼等と交際するの機會多かりしものなり。彼等は何れも日本人の事業地として墨國の米國にまさる事を斷言し居れり。墨國にて產するものは皆其地方の市場に賣捌く事を得、仲買人に利を壟斷せらるる恐なき事も其一なり、農產物の多くは年中絶間なく生長し二回も三回も收穫を取る利ある事も、また注意す可き所なり。

日本人の入りやすき西海沿岸地方には雨量十分あり、また灌漑に使用し得可き河川少なからず、霜の降る事なく、寒風の吹き荒ぶ事なき地多ければ、農業に失敗を招くが如きは極めて稀なり。

資本は土地の價格また英加數によれば、一概には何程必要なりと言ひ難けれど、此國の事業は大資本を持つて當らざれば利あらずとするは大なる誤謬なり。余は此國の事業は反つて小資本家に適するものなりと信ず。土地の安き所は一英加二弗五十仙位にて良地を買ふ事を得、斯る安

地を買占むる事は資本家のなす所なるが、十五弗若しくは二十弗を投じ、相當にひらけたる場所を買求め、事業に著手すれば、吾が國人が加州に投じつゝある資金にて、立派に發展の基礎が築かる可しと信ず。

勞働賃金は甚だ安く、墨國人は米金二十五仙乃至七十五仙の日給にて終日勞働す。彼等は怠惰無能にして用をなさずと批難せられ居るが、そは悪制度が然らしめたるものにて、働かせ樣其當を得れば中々忠實なる勞働者となるなり、此點に於て日本人は歐米人より多くの得點を有す。彼等は日本人を同人種視し、日本國を崇拜し居れば、白人に使役せらるるを嫌ふに反して、日本人のために働く事は悦んで居るなり。

右の如く吾が國人は墨國人とよく融和する事を得、勞働賃金の安き墨國人を容易に使用するの利を有すれば、此競爭場裡にあつては、歐米の大資本家と競爭して、相當の勝を博する事が出來得ることゝ信ず、此國が將來日本人の理想的發展地であると云ふは決して誇張の言ではないと斷言する事を得。

千九百十六年七月某日

ゼ、エチ、レイダー

親愛なる

長谷川兄

はしがき

墨國の内亂があまりに果てしないので、同胞の墨國熱も大に冷却した傾向があるが、實は此内亂ほど私共日本人のために都合のよいものはないのである。もし此の内亂がなかつたならば、同胞の墨國發展なるものも、一時は盛況になつたかも知れないが、終局はまた英米獨人の資本家のために、最後の勝利は奪はれてしまつたであらう。

所で、此内亂は墨國より英米等の資本家を追拂つた。そして我等日本人に研究するの餘裕と資本を作る年月とを與へた。同胞が果して墨國に發展する事を得るや否や其能力は此間に養成せらる可きである。今日墨

國に於ては米人ほど排斥せられて居る國民はない、然るに米人は愈々盛にスパニシ語を研究して居る。實に私共日本人の學ぶ可き所である。然るに同胞を見るに、未だ一の墨國研究の好書がない様に思はれる。甚だ遺憾であるから、まだ不備ではあるが、余が多年研究して居つたものを集め、墨國研究者の一助として公にした次第である。

參考書として利益を得たものは卷尾にあげて置いたが、友人として『墨國』の著者レイダー博士と在墨有數の實業家菊地龍作君より多大の助力を得た事を讀者に記憶を乞ふのである。

西暦千九百十六年九月某日

著者しるす

附言

十月十五日發行のサンセット雜誌には文學士チャーレス、ホッチ氏の『南米に對する日本の野心』と云ふ論文が載つて居る。此雜誌はジョルダン博士等の名士が常に寄書せられてゐる、西岸では最も有力なもので西岸思想の代表者として、東部にも多數の購讀者を有して居れば、ホッチ氏の議論は確かに思想界の注意を促がした事少なくあるまいと思ふ。

既に原稿は日本に送り、紙數等の相談も出來たあとであれば、此論説を譯出する餘白はないが、余が所論との對照として、其大意を讀者に紹介するは、最も時機に適したものと信ずるのである。

氏は餘程日本の輿論には注意して居られると見え、中央公論、新日本または新聞等に現はれた大隈侯や諸名士の意見を譯出引照して、日本が過剰な日本人種の發展地として南米諸國に大望を抱いて居る事を證せられ、南米諸國は皆少數のラテン人種がインジヤンを司配して居るのである。其れでインジヤンは優等な同人種なる日本人の來る事を大に歡迎する。故に日本人の發展には萬事都合がよい。所で、此日本人種はインジヤンの如く白人種の壓迫の下に滿足をせず、終には白人種を凌駕する樣になれば、南米に白人種と他人種との大なる軋轢が起るに至るは免がれない。其時になれば悲運にある白人種は救を合衆國に求むるに相違ない曖昧なモンロイ主義を維持せんとする合衆國は如何なる解決が付けてやれるか。一方に於ては南米から援助を訴へられると同時に、他方に於ては日本より排日問題の張本人として責を負はせられ、板挾の境遇に陷るであらう。されば未だ左樣な問題の起らない先きに、加州排日問題の如きは、日本の滿足する樣に解決を付けてしまひ、モンロイ主義の意味を明かになし、群がり來る日本移民から南米を救ふ業を立てゝ置くが宜しからんとの主張である。

此所に挿入した諷刺畫は氏の議論を説明したものである。一方のは耳に楊子をはさみ、右手には書をいだき、左手には日本の國旗を持つて船

から出て來る日本人を南米のインジヤンが歡迎して居る所である。氏の想像せられて居る如く、我政府に確たる植民政策なるものありて、淸潔で、學力があり、愛國心に富むで居る、資力能力完備の日本人を南米に送り出して居るのであれば、第二の畫の樣に日本人が白人種にとつて代り、南米土人の主人公になる事敢て難き事ではなく、白人種が將來を恐るゝも當然な事であるが、我政府は南米とてもまた同じく、今日までなし來りたる如く、單に彼地の勞働要求にまかせ、無方針に移民を送り出しつゝあるに過ぎないのではあるまいか。南米移民としてサンペドロに寄港した船を見れば、インジヤンが優等人種として歡迎するが如き性質のものではなかつた。布哇に送り出した如き移民であれば、南米にある少數の白人種が制御すること何の困難もなかる可く杞憂する必要はないのである。

ホツチ氏の說に依ると、華府の外交界では今米國々境外の墨國に居る日本人は二十萬人と算せられて居り、東京外務省では二千七百三十七人ある而已だと言つて居る事であるが、氏はいづれも信ぜず八千乃至一萬とせられて居る。其れで墨國に對しての我政府の政策は甚だ用意周到の樣に察せられて居るが、之れまた我政治家の大言壯語から得られた誤まれる印象に過ぎまい。

然し南米は兎も角吾人の墨國に發展す可き理由は備つて居るのであれば、此國に於ては米人の邪推杞憂等に頓著せず堂々とやる可しと思ふ。余は無方針不用意な我移民には反對であるが、ホッチ氏の想像の如く、我大學生あたりが率先して來るなれば、隨分面白い事が出來るであらうと信じて居る。既に幾度も述べた如く、墨國今日の内亂は墨國人種の覺醒であり人種的勃興である。彼等の目的を達せさせ十分に昂上發展を遂げさせてやるのが、深き關係ある吾人の使命であるが、また其れと同時に米人種の圓滿な發展が出來る樣、はかる事を怠らなかつたならば、此米大陸にある人種問題を解決することが出來樣と思ふ。

主張す可き理由は堂々と主張し要求し、讓る可き點は讓ることを惜まず、旗色を鮮明にして、互の利益をはかるに於ては、決して米人の好意を損ずることはないのである。

愛國心に富むで居る、資力能力ある日本人種を南米に送り出して居れば、白人種の杞憂に感ずるは當然の事であるが、我政府は今日まで爲し來りたるが如く、南米とても、單に彼地の勞働要求にまかせ無方針に勞働者を送り出すのではあるまいか。南米移民として此サンペドロに寄港したる船を見れば、白人種は勿論インジヤンからも排日を受ける樣にならんかと恐れられる人々であつた。

サンセットから轉載（其一）

墨國一覽目次

レイダー博士の序……一

日本人の理想的植民地

はしがき……一

第一章

緒論一……一—三

排日土地法が吾人に促す反省□代表的排日論□吾人が墨國發展の理由

緒論二……三—三

日墨の人種的關係□西人上陸當時の文明□中部の墨國人と日本人の類似□言語

（其二）

上からの關係□日墨人混血の由來
緒論　三…………二三—三三
日墨の歷史的關係□家康正宗の墨國交通□我國が最初の歐米知識□海外雄飛の大頓挫□我移民今日の不利□墨國が吾人に與ふる挽回業
緒論　四…………三三—三九
墨國人の國民的自覺
第二章
歷史大要…………四一—六二
トルテツク、アステツクの文明□猛將コルテスの墨國征服□スパニシ人と土人の雜婚□スパニシ人の壓制□スペインから獨立□米墨戰爭の原因□ゼトニー、ウワレスの大改革□ナポレオン三世の干涉□マクミリアンの三日天下□デヤス大統領の政治□彼が功績と弱點□日本教育制度の採用□マデロ勝利の原因と失敗□ウエルタ臨時大統領の長短□カランサ政府承認と米政府の責任
第三章
墨國憲法…………六三—七二
重要なる三十八箇條譯出□墨國人とは誰れぞや□墨國人の權利□市民權の資格□市人の義務□外國人の保護等
第四章
政體及び政治組織…………七三—七六
第五章
教育…………七七—八二

今日までの教育歴史□天主教の普通教育反對□ウィルソン大統領がウエルタ排斥の一理由

第六章

宗教……八三―八七

僧侶の勢力□教會が公式結婚反對の弊害□賤民社會の迷信

第七章

風俗生活狀態及び氣質……八九―一〇三

上流社會と賤民の懸隔□藁帽子は簡便生活の表號□マニャニャ（明日）主義□上流青年の丹次郎生活□賤民の快樂は酒と煙草と女□同情心と友愛

第八章

地形、氣候、動物、植物……一〇五―一一六

面積人口□二大山脈、水路□熱帶溫帶寒帶の三區域□四季なく、唯だ降雨季と乾燥季□鳥獸魚蟲の種類□植物の繁茂

第九章

各州各領土の面積人口氣候地勢產物……一一七―一九一

西部諸州……一一九

低加州（ローカリホルニヤ）……一一九

ソノラ州……一二三

シナロワ州……一二五

テピック領……………一二九
ハリスコ州……………一三一
コリマ州……………一三五
ミチヨアカン州……………一三八
ゲルレロー州……………一四一
オアサカ州……………一四三
チヤパス州……………一四六

第十章

中部諸州……………一四九

チワヽ州……………一四九
コアウイラ州……………一五二
ヌエボレオン州……………一五五
ドランゴ州……………一五六
サカテカス州……………一五九
アグワカリエンテス州……………一六〇
サンルイスポトシ州……………一六二
グアナフアート州……………一六四
ケレタロ州……………一六五

イダルゴ州……一六七
メキシコ州……一六九
同盟政府所在區……一七一
トラスカラ州……一七三
プエブラ州……一七三
モレロス州……一七五

第十一章

東部諸州……一七九
タマウリパス州……一七九
ベラクルス州……一八二
タバスコ州……一八五
カンペチエ州……一八七
ユカタン州……一八九
キンタナルー領土……一九〇

第十二章

外國人と市民權……一九三—一九九
政府が外人に對する態度□英米獨佛人等の事業□市民權に關して米墨憲法の差□外國人が土地を買はんとする場合
公有地法及び公有地拂下げ地價……一九九—二〇七

土地購買者の心得□拂下げざる土地□拂下げ地價

第十三章

鐵道……………………………二〇九—二一四

今日までの發達□英米人の私設□政府の統一方針

第十四章

農業及び重要なる農產物……………二一五—二二八

百年前の農產額□廣漠たる農業地□政府の開拓奬勵□最も有望なる事業——

棉花(カツトン)と甘蔗(コナビツ)□砂糖大根□珈琲□龍舌蘭□煙草□其他染料植物ゴム樹等の栽培

第十五章

牧畜業……………………………二二九—二三四

最も盛なる州□西海岸はハリスコ州□中部はチワヽ州□東部はベラクルス州□

墨國の牧畜業者には投機的分子なし

第十六章

鑛業……………………………二三五—二四一

銀の產出は世界第一□銅の產出は世界第二□米人は金銀銅等に投資す□英人は

石油事業に最も成功

製造業……………………………二四一—二四九

木綿紡績最も盛大□英米人は第一とし佛獨人之に次ぐ□砂糖製造第二位を占む

□小資本にて出來る事業多し

第十七章

貿易……………………………二五一—二六〇

十六世紀支那日本ペル等と始む□西暦千九百年より千九百十年まで十箇年間の統計□輸入の部□輸出の部□有望なる將來

第十八章

日米問題の良解決案……二六一—二六二

同胞はどれ程の覺悟があるか□排日土地法が與へた利益□今日の問題は市民權問題にあらず□經濟問題□獨逸の植民政策と日本の無方針□我政府今日の責任□同化の精神□民族的發展の自覺と自重心□我實業家今日の使命□白人種の舞臺に出陣す可し□墨國より始む可し

參考書類……二六三—二六八

附錄

日常スパニシ語會話……一—三一

寫眞版挿繪十九枚

ハリスコ州の大瀑布

墨國一覽

マスター、オブ、アーツ　長谷川新一郎著

第一章　緒論（一）

加州排日土地法の制定以來、在米同胞は一般に『是からは墨國だ』と云ふ思想を抱くに至つたが、內亂の今尙ほ何日果つ可きや見込みの立たざるが如き狀態にあるを見て、失望せられて居る人も少數であるまいと思ふ。

然し內亂も最早長くは續くまいが、よしまた愈々大問題となり、米墨開戰でもする樣になれば、其結果米人は大勢力を振ふ事になり此國の富源は米人の大資本で目覺しき開發をなすに相違ない。何れにしても唯だ時間の問題であつて我同胞のためには、反つて此研究時間のあり、用意をなす餘裕のある事を幸としなければならない。我同胞が或程度まで迅速なる發展をなし、行きづまるに至るは、一時成功に眩惑し、遠大の計畫がなき故である。

吾人の抱負と覺悟と技倆次第で墨國に於ては、何處までも發展が期し得られるのである。然しながら大有望であるだけに、また其れだけに相當の研究と準備が必要である。唯だ此國の土地のよきと日本人に對する人氣のよい事等に動かされて移住を思立つが如きは、北米の排日に辟易して、此國へ逃げるに過ぎない。其目的が墨國に土地を購ひ北米より早く產物を出し其れを輸出して小利を得んとするほか他に大した抱負なきものであれば、同胞の墨國發展なるものも甚だ覺束ない次第である。

墨國は英米獨佛西の競爭場裡であり、また吾人日本人には再び得難き發展地なれば、在米同胞は勿論であるが、故國政治家實業家の注意を墨國に促し度いのである。加州又北米西岸州の排日を利用して、我政府が日本人の墨國發展を計るなれば北米の排日問題の如きは我より求めず共

自ら解決が付いて仕舞ふと思ふ。

日本人が加州の富源開拓に貢獻した事は大なるものである。然るに日本人が荒仕事をして漸く彼等白人自身にてやれる様になると、もう要らないから日本へ歸つて吳れと云ふが如き態度を取るは如何にも人道に反すると日本人は怒るが、彼等には彼等で又理窟がある。彼等は白人以外に優等なる人種はないとして居る。而して優等人種たる白人種が劣等な他人種を使役するに何の不都合もない事として居る。特に日本人の如きは我より招いたのではなくして彼等より好んで來たのであれば、國家の存在上入られては却つて迷惑になる今日斷るに何の遠慮あるべきやと云ふのである。

排日の理由は利害上の關係から又は敎育家、宗敎家、政治家、勞働黨各自それぞれの立場から名付けるので理由と理由が衝突する事もあるし矛盾する事もあるが次の羅府ツリビユンの所說はよく輿論を代表したものである。

吾人は外交や手練を要せず、唯事實を主張すべし。日本人は米國に植民し土地を所有す可らず。彼等は米國民となる事を欲せず、されば吾人も亦彼等が米國民となるを欲せざるなり。

日本人は多くの點に於て偉大なる能力を有する國民なり。吾人は日

本人が吾科學實驗室にありて人類の爲め有益なる發見を爲す事を歡迎す。吾人は彼等が過去に遂げたる處を稱揚し、彼等が將來遂げんと期する大望を稱讚するに決して吝ならず。されど彼等が米國の地主となり、白人勞働者の競爭者となり、東洋的道德、東洋的思想、東洋的社會組織の輸入者となる事は決して忍ぶ能はず。

華府にあり平和を主張し軟弱なる外交を得意とする政治家よ、卿等眞に平和を欲せば日本人を拒絕せんとする吾人が計畫に決して反對する勿れ。卿等日本の感情を妄りに損せざる樣外交的御世辭や愛嬌を振り撒くは大によし、されど日本人排斥を忽とせば甚だ災なる哉。

ボアス博士をして日本人と白人種との雜婚の人種改良に利ある事を說かしめよ。然し其利如何に關せず白人と他人種の混血を欲せざる國民の意思に反抗する事を止めよ。卿等は英國より學ぶ能はざるか。英國は日本の同盟國に非ずれや。さどキャナダ、オーストリヤ、ニュージランド及其他何れの英國領土に於ても日本の移民を許さゞるなり。是れ英國政府が國民の輿論に反對するの不利なる事を知るが故に非ざるか。

米國を發見せるものは白人なり。此國に來り樹木を倒し、インジャンと戰ひ、土塊を覆し、種を蒔き、食物を產し、地を占領したるものは白

人なり。されば吾人は永久に之を白人のものとせんと欲するなり。

アフリカ人に對しては吾人責任あり。彼等は好んで此國に來りしに非ず、吾人は強ひて彼等を連れ來りたるなり。故に吾人は彼等に相當なる待遇を與へざるべからず。されど其他の人種にありては其黃色人と黑色人たるを論せず、我戶を固く鎖さゞる可らず云々。

米國教育家の理想は外國移民を米國と云ふ大熔爐に投じて、米國人と云ふ更に勝れたる人種を作らんとする事である。そして彼等は此事業は難なく成功しつゝあると信じて居つた。然るに今日の歐洲戰爭にあひ、此問題の中々至難であつた事を痛切に實驗した。其れで此度の大統領選擧にはレパブリカンもデモクラットも獨逸人的米國人、英國人的米國人何々國人的米國人を排斥し、純米國市民を作る可き事を米國第一の急務となし、互に愛國心主張の競爭をやつて居る次第である。されば此國に來り自國の語をはなし、日本町を作り、特種な社會を作つて行くを見て嫌はしく思ふ處に、人種は全く異なり國民性の強き事獨逸人に優れりとせられて居る日本人種の發展に杞憂を感じ、更に恐怖心を抱くは當然な事である。排日思想はいよ／＼盛になるを免かれぬ。

既に優等人種が其理想に從つて社會を組織し進步發達して行く中へ、言語は全く異なり、國民性も異なり、趣味も異なり、社會生活も異なり

たる他人種が割込み、圓滿な發展を遂げんとするは無理なる註文と言はねばならない。また如何なる國でも國家として存在する以上は危險と思はれる外國分子を拒絶する權利はある可き筈だ。されば日本人の土地問題や市民權問題の如きは、一時の外交的手際で片付く可き性質のものでない。よし强硬な談判にて市民權獲得が出來たにせよ、徒らに米人の反撥心を高めるに至らば如何。たとへ市民權を得る共黒人種の如く社會上擯斥せられるに至らば如何。市民權なき日本の青年は米國の公立學校に入學し月謝も出さず大威張りにて勉强も出來るのであるが、彼等黒人は白人の學校に入れられない處が多い。彼等が受ける十分の一人種的侮辱を受けても、吾人は忍ぶ能はず、再び母國に歸化し直し逃歸つてしまふであらう。

故に、余は加州の土地問題や市民權問題の如きは、在米兒童が成長して勞せずして自然に解決を付けるに任せ、北米の排日を利用して、我墨國大發展の策を立てた方が遙かに利益であらうと思ふ。要するに我北米發展は國民的發展でなく民族的發展である。米人が滿足するまで同化し彼等と相提携して事業をやる樣にならない內は、ほんたうの根柢は出來ない。今日の如き、市外に擴張して居る同胞の野菜農園を見、今にも日本人のため土地を占領せられてしまふが如く、多數の米人は恐れて居る

のであるが、其實は地主と仲買人に利益は吸收せられ、同胞農業者は僅かに生活するに過ぎず、土地所有權ありとするも之を購ふ資力はない。今日よりも順境な時も來るであらう、然し日本人が發展すれば米人はまた更に發展して行く。母國より大資本家でも來り之れを救ふにあらざれば、我同胞は絕えず經濟的壓迫を受け、白人種に都合よき半殺しの狀態から逃れ出づる事は容易に期し難い。

然るに墨國を見れば、白人種の壓迫を脫し、日本人の能力次第、いくらにても手足を伸ばす可き多くの條件を具備して居る而已ならず、墨國人の指導者たる可き事も期せられるのである。余はツリビユンの所論を尤もとして、心よく讓り、之れを採用して我墨國發展の大なる理由にしたいと思ふのである。米人は日本人の墨國發展を更に恐れて居るが、北米を白人種のものとする理由が正當なれば、日本人の墨國發展ほど主張す可きものはない。

余は章を別ち其重なる理由を述べ樣と思ふ。

緒論（二）

日墨の人種的關係

墨國には三十種以上の土人が居り、其土人の分れ出でたる本を尋ぬれ

ば少くとも八大種族はある。然し此何れを代表的墨國土人であるとすれば、スパニシ人が來た當時、今日の墨都を中心として榮えて居つたアステック及びトルテック人である。而して今日代表的墨國人は其人種もスパニシ人の雜婚より出來て雜婚人種である。アステック人又トルテック人以前に如何なる人種が居つたか今日からはよく解らないが、或る學者は今日より三四千年も前に可なりに發達した人種が住んで居つたと云つて居る。今日遺つて居るピラミット、寺院、石碑、彫刻、陶器、偶像等から察すると、歷史の記錄以前に既に文明の域に達し居つた人種が居つた事は明である。殊に美術品等には色の配合や技巧の點に於て今日の美術家の及ばないものがある。

歷史以前の事は學者の想像と研究に委せ、スペインの猛將コルテスが千五百十九年に墨國に上陸した時には、アステックの大帝モンテズマ第二世の御世であつて隆盛な時代であつた。コルテスがスペイン帝王へ奉つた書の中に市場を敍した處を見ると『サラマシカの市場の二倍も大なるものあり、弓形の連房で圍まれて居る。日々此市場で賣買するもの六萬弗以上に達す云々』と言つて居る。又『チエーリーやプラムはスペインのものに劣らず……グラナダ市から輸入し來りたるには非ずやと疑はしむる數色の絹絲あり……カスチル市にて釀造したるが如き麥酒もあ

り』等と記して居る。市場の盛なりし事は想像する事が出來る。

彼は建築物の立派なるに驚き、軍神の寺院に就ては『其壯大華麗なる事言語に絶す：：其中の重なる塔はゼベル寺院の塔よりも高し』と云ひ國民の風俗等に就ては『市民の禮儀作法等を見るに生活の狀態我スペインの其れに比して遜色なし。此市民が神を信ぜざる野蠻人にして、未だ嘗て文明人と交通したる事なきを考ふる時は、如何にして諸方面に斯くの如き進歩發達を爲したるか實に驚かざるを得ずと云つて居る。

此アステック人はトルテック人を征服して其文明を採用し其上に彼等の社會を築き上げたので唯征服者たるスパニシ人に比して劣らない文化を保つて居つたばかりでなく、また却々勇敢な國民であつた。さればコルテスがモンテスマの宮城にスペインの國旗を飜へすを得たるは二箇年間も掛つたのであるが、彼若し文明人の恥辱として居る卑劣なる奸計を恣にせなかつたならば未だ幾年を要せしや知る事は出來なかつたのである。

墨國中部に住んで居る土人は一體東洋人種に似て居る。特にアステック人の風貌骨格は日本人に似て居る。故に學者の中には日本人と墨國人は元來同人種であると主張して居る人が少數でない。京都大學に敎鞭を執られたグードリッチ氏はまた墨國研究家の一人であるが、氏は諸方面

から日本人と墨國人は同人種であると主張され、墨國人が軍神メキシトリを崇拜し武勇を尙ぶ所は日本人其儘である、此軍神は我八幡太郎と異名同身ではあるまいかと論ぜられて居る。アチヤス、ロナロ氏はブキヤナンとリンコルンが北米合衆國の大統領であつた當時駐米墨國公使をせられた人で、墨國の大家であるが、氏も亦著書の中に、墨國土人は東洋人種特に日本人に著しく似て居る。『セニヨル、ピメンテルの如き大言語學者は支那語又東洋語と墨國語との間に、何の關係はない。單綴音なるオトミ種族の言語ですら支那語と類似の點なしと主張せられて居る事は余の承知して居る處であるが、余は其れにも不拘、亞細亞人と米國の土人とは元來同人種であり、彼等の言語間には何等かの關係ある事を信せざるを得ず』と論ぜられて居る。

是言語學者は支那語と日本語を同種類の如く思つて居るから斯る論斷を爲すのであるが館野公使は墨國に短時滯在の間日墨兩語間に在る同音同意語を少からず發見せられた樣にも聞いて居れば、研究の進むに從ひ益々此關係は解かる事であらう。吾學者間にも木村鷹太郎氏の如き言語學上日墨人は同人種であると主張する學者も出來て居る。歐米の學者の間に疑問となつて居るのは此同種が如何にして太平洋を隔てゝ斯く遠く東西に離れる事が出來たかと云ふ點であるが、元來同種なりしや否やは

さて措き、潮流の媒介に依り大和民族の血液が墨國人に尠からず雜つて居る事を證するは敢て六ヶ敷事ではない。左の如き事實を見れば思半に過ぎるであらう。

シー、エチ、ブルック氏は西曆千八百七十一年から同七十三年まで桑港にありて日本領事館に務められた人である。氏は在職中日本漁船の此地に流れ著いたものを審らべられたが其數夥しいものがある。

千八百五十年から同七十六年卽ち二十八年間の記錄にのつて居るもの而已でも三十六船の多きに達して居る。之れを以て察するに日本沿岸に漁民のおこりし以來潮流にとらはれて米國に漂著したものは何千あるや恐らく想像以上であらう。

英領コロンビヤ邊に住んで居るサイバンと呼ばれて居る土人は頗る日本人に似て居るし、またバンクーバーに於ては近年日本の甲冑に扮せるものを見出した事もある。カナダは(金田)アラスカは(アリヤスカ)等の日本語から轉じたものではあるまいかと云ふ學者もあるが强ち臆說として捨てられないのである。

墨國のアステック人は加州の北部から彼地へ移住したものと一般の學者に信ぜられて居る。彼等が北米の中部又は東北部に住んで居るインジヤンと異なり强固な國民性を有し、他の文明を採用して我物となし、優

れたる國家を築いた歷史等を見るに、太平洋沿岸に注いだ大和民族の血を最も多く享け日本化した土人ではなかつたであらうか。加州大學總長ホイラー博士は日本人の强固な國家的精神は到底米國化す事能はずとなし、日本移民には反對者の代表者であるが、博士は學者の立場から、日本人種は支那人朝鮮人と何等人種的關係なく、言語上骨格上から見ても米國北岸のインジヤンと同人種であると主張されて居る。然るに白人の米國とし度しと云ふ希望から日本移民には反對せらるゝのである。然れば合衆國に於ては白人の爲め落魄の運命にあつたが墨國に於ては相當の文明に達し、スパニシ人の爲に征服せられ、奴隷の地位に墜落され、三四百年間白人種の壓制を受けても尚ほ屈せず、再び勢力を得始めた墨國にある亞米利加インジヤンと、我等同人種と稱せられたる民族が相結合し强固なる國家を建設するに北米人の反對する理由ない筈である。

緒論（三）

日墨の歷史的關係

多くの人は六十年前ペルリが日本へ來たのを以て、日本と米國との交通の初と思つて居たが、實はそれより二百有餘年前に日本の大船は二回も加州の沿海を南に下り墨國のアカプルク港を訪れて居る。此事を記す

前に、溯つて其れまでの我歷史を回顧して見度いと思ふ。

千四百九十二年コロンバスが米國大陸を發見するや、其れ迄彼の計畫を狂氣の沙汰と冷笑した歐洲諸國は競うて探見を始めた。然しスペイン人とポルトガル人は常に率先者であつた。幾年ならずして彼等は西に於ては北米の南部墨國及南米の探見を遂げ、更に南米を廻航して加州までも探見し占領し、東に於ては千四百九十七年バスコ、デ、ガマが亞弗利加の南端喜望峰を廻りて印度に達した。其れより印度ゴアに植民地の建設となり、此地を立脚地となし、スペイン及ポルトガル人はフイリツピン群島まで發展する事となり、我國に於て織田信長、豐臣秀吉、德川家康等が日本の小天地に天下を争うて居つた間に、何ぞ計らんや、スペイン及びポルトガルの船は印度、フイリツピン、支那、墨國間に盛に貿易を營み我近海を走つて居つたのである。

日本が唐天竺以外に世界の在る事を知つたのは我天文十二年の事である。卽ち米大陸發見から五十年目である。ポルトガルの商船一隻が九州大隅の沿海へ吹き流されて來た故である。船長ピントーの鐵砲の音は日本の惰眠を覺醒した。内には築城法に改革を與へ、外には大に雄飛心を喚起せしめた。諸侯は競うて外國貿易を爲さんとし、外人の好意を買はんが爲めに、スペイン、ポルトガルの宣教師を歡迎し彼等の布教を歡迎し

た。

我慶長十四年、西暦千六百九年にはスペインのサンフランシスコと呼ぶ約千噸もある大船一隻が上總國夷隅郡岩和田村の沿海に難船した。此時に家康は難船者を救助しアダムと云ふ英人に洋船を造らせ、墨國に送り還した。此船は慶長十五年六月十三日浦賀を發して墨國に向ひ同年九月十一日加州に著し、其れより墨國のアカプルコ港に投錨して、大に歡迎を受けた。

慶長十八年卽ち西暦千六百十四年には伊達正宗が家臣支倉六右衞門常長に六十八人の隨行員を附して、使臣として羅馬法王に派遣したが、此船が又墨國アカプルコ港に著き、大歡迎を受けて居る。其當時の歷史を見ると墨國は新スペインと呼ばれ、西半球に於ては一番隆盛な國であつた。家康の難船者送還や伊達正宗の使臣訪問は大に日墨間の親交を溫めたが、後者にあつては日墨關係を一層深く結合した。支倉使臣の隨行員はあまりに多數なりし爲め、其一部は墨國にとり殘されたが、其人には墨國人と結婚し今日榮えて居るものがあるとの事である。老デヤスは日本人の血統を引いて居ると云ふ風說も一時は盛であつたが、强ち彼が日本贔屓であつた爲めの虛構の臆說とのみ見られない。

若し德川家康が鎖港政策を採らず、海外雄飛心の赴くに任せたならば、

どれ程日本人は發展して居つたらう。

山田長政は暹羅に英名を轟かせ、原田孫七郎はフイリツピン群島を日本へ合併せんとし時の領主に迫つた。角屋七郎兵衞は安南に日本町を立てた。此冒險的精神は布哇に渡り米國に近き、排日問題の如き種の發生する機會はなかつたであらう。

然るに六十年前に再び世界に目を開いた時には時既に遲く、周圍は皆白人種の勢力に歸し、日本人は支那人の後を追ひ、白人が捨てゝ支那人の取つた後を、更に拾ふ運命となつた。而して又支那人の排斥の後からは順次に排斥せられる事となつた。如何にも憤慨の次第ではあるが、我政府當局者の方針を誤れる事に歸すべきである。

獨逸が海外に發達した後を見るに、相當の敎育を與へ何れの國へ行つても發展の出來る用意を與へて送り出し、常に定つた方針を執つて進んだのである。然るに我國を見れば米國又は其他の外國にて勞働者を要求して居るに任せ、勞働者を無方針に送り出したに止るのである。されば、唯勞働一方にて或處迄は發展が出來るが、白人に比して頭腦が大に缺乏して居るが爲め、其以上には昇る事が出來ず徒に排日問題を釀すに至る。

加州排日土地案の議題に上り、加州同胞は激昂し、故國の政治家に訴へ、故國の政治家も亦憤慨せる際に、余は此問題が決して外交や示威的

運動で解決が出來る性質のものでない故、之を利用して墨國發展策を講じて置く方が遙に利益であると云ふ所論を時の外務大臣に呈したのである。一介の書生の囈言として捨てられたに相違ないが、余が豫測の如く故國有志家の激昂は却つて加州議員の反抗心を起し、全會一致の狀態で急かに可決するに至らしめた。

日本人は世界何れの處に於ても白人種が優勢な地では排斥せられて居る。故國では大にブラジル移民を奬勵して居る樣であるが、此國でもまた遠からず排日問題の起るは明かである。加州排日問題の起つた當時華府に在つたブラジル公使は之れは加州人の問題ばかりでなくブラジルの問題となし、加州人の成功を願つた事實に徵しても、彼國の排日は唯だ時間の問題である事が解かる。

斯くの如く四面皆楚歌の聲である時に此墨國あるは、三百年前吾人が失つた機會を天が再び吾人に與ふるものではあるまいか。故服部綾雄先生は排日土地法の眞相は二十年前桑港にてジャップ〳〵と日本人を排斥して居つた、獨逸、伊太利、アイリシ等の子供が成長し發達し政治家となり、此度は法律を盾となして排斥するのであると看破せられた。如何にも大體に於て其れにほかならない。然し排日の加州のすぐ鄰には墨國あり、米人を排斥して日本人を歡迎して居るは、實に面白い對照である。

勿論彼等の日本人歡迎には、米國に對する面當の意味も少なからず含むで居るが、彼等には日本人と意氣相投合する所が多く、日本國民を模範として崇拜して居る點もまた頗る多いのである。されば墨國なる白人種と競爭舞臺に於ては加州にあつた事實を正反對に繰返し、此度は吾人日本人の政治の權を利用し、米人を排斥する事もまた出來るのである。然し吾人の欲する所は復讐ではない。吾人の發展と墨國の進歩發達である。內亂にて疲弊せる墨國は大に米國の資本に賴まねばならない。されば米墨人間の感情融和者の態度を以つて進んだならば吾人に對する米人の杞憂と恐怖を散じ、墨國は愚か北米に滯つた同胞事業家のため確固な發展の途をひらくに相違ない。

緒論（四）

墨國人の國民的自覺

今日の內亂を以つて我元龜天正時代に比し、群雄割據以外別に意味なきが如く觀ずる人が少數でない樣に思はれるが、之れは不親切なる觀察と言はねばならない。混沌として今尚ほ歸著する所なきは我維新の時の如く豪傑がそろはず國民の崇拜と信賴を負ふ大人物がないためである。少しく資力と思慮あるものは此狀態に絕望し北米に逃がれ時の來るを待

つて居ると同時に、利に敏き米國の商人は國境にあつて、一時の利のため絶えず、內亂を援助して居る故である。所で、米國政府が干渉せんとすれば忽ち敵味方相合し、こぞつて之れに當らんとする。米國政府の對墨政策難はこゝにあるのである。

此內亂のため損害を受けた資本家等は頻りにウイルソン大統領を攻擊するが、ウ大統領がウエルタ政府を承認した所で、唯だ一時の姑息的平和を得るに過ぎなかつたのである。余は歷史の部にて此內亂に至つた原因を述べるが、一度マデロの革命により破裂された強制的平和は行く所まで行かざれば到底解決は付かない。然しフランス革命が佛國を滅亡させなかつた如く、今日の內亂が墨國を滅亡させる事は決してない。

佛國革命と墨國革命と異なる點は、前者には大思想等輩出し、國民全體の思想が相當に發達した時に破裂したので、活劇も烈しく、終局もはやかつたのであるが、墨國に於ては國民の過半以上は自己の名前さへも書く事の出來ない愚民にして、他の部の多數とて、未だ政治の何たるを解せざる時に、夢想家なるマデロの辯舌に動かされ其期熟せざるに突發したるがために、活劇もあまり振はず、中々に片付かざる所へ加へ、米國の奸商か役者を作つては此舞臺へ飛込ませるからである。

然し今日の內亂が如何變じ樣と墨國人には信賴す可き國民性がある。

此國民位逆境の歴史を經て尚ほ屈せず昂上して來たものは少ない。いや他に無いであらう。

スパニシ人が彼等の先祖を征服した時にはコルテスも驚いたほどな文明に達して居つたが、スパニシ人が一たび主權者となるや、忽ち彼等を奴隷となし、彼等が頭をもたげる機會は皆奪つてしまつた。西人と彼等の女子の間に雜婚が行はれ、多くの雜血人種が出來るに及んでは此雜血兒には教育を授け相當なる社會上の地位は與へたが純インジヤンは教育す可き能力なきものとして打捨てた。然るにスペインより獨立の革命家となつたものは純インジヤンであるし、其れより輩出した大思想家大政治家等皆純土人であつた。

スパニシ人は墨國人を風貌に於てスパニシ化す事が出來、雜血人が今日の代表的墨國人であるが、彼等の國民性を化する事は出來なかつた。風貌に於ては純スパニシの如き美はしきものも、スパニシ人と呼ばれるを悦ばず、墨國人と呼ばれるを得意となし、純インジヤンの血の混つて居るを誇りとして居る。

デヤス大統領が例年の如く新年宴會を開き各國公使等を招いだ時に、スペイン公使は今日の墨國人を作るに西人の血の大にあづかつて居る事を得意氣に演說した所、デヤスは左なり少しはと答へたばかりであつた

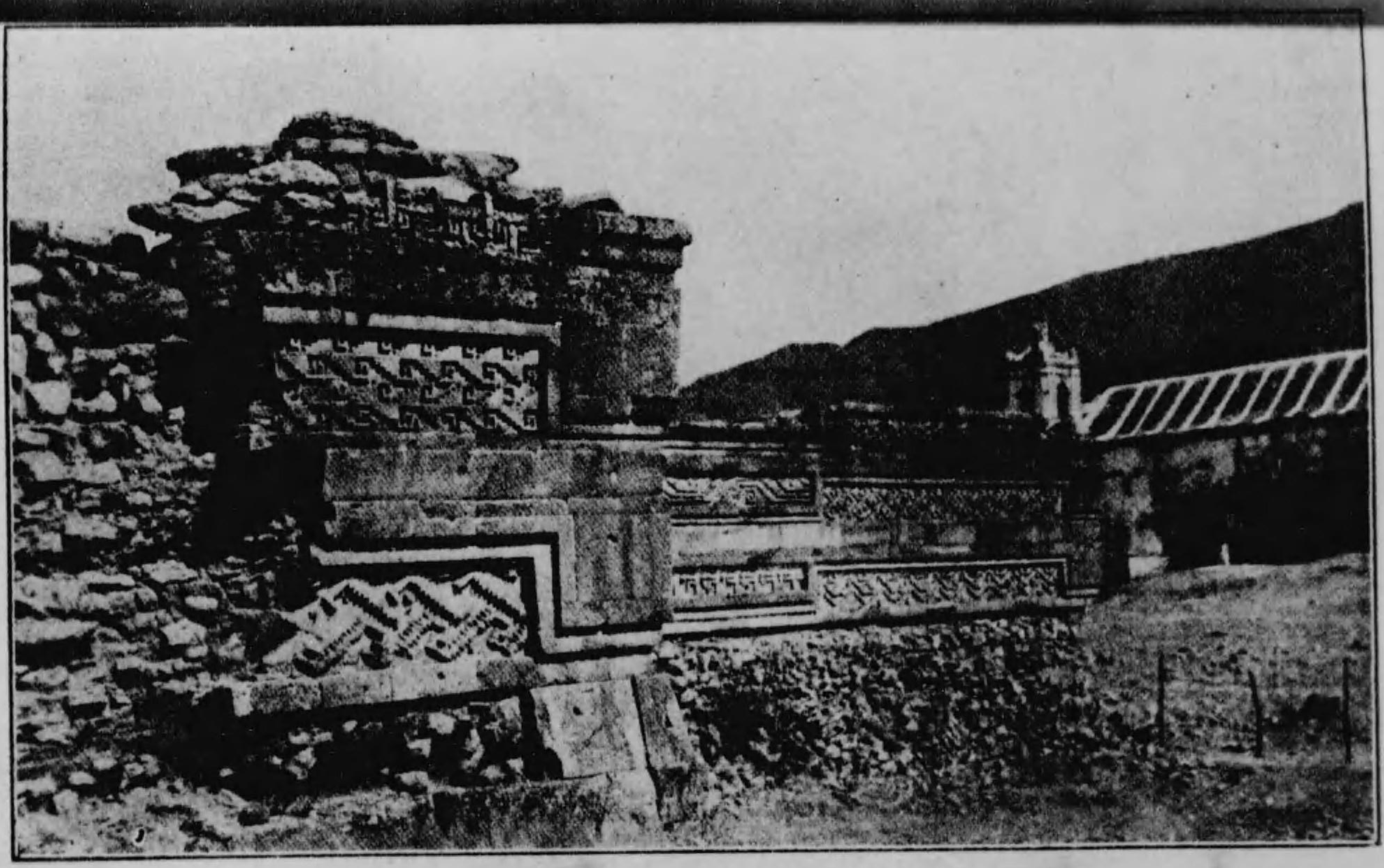
と言ふが、此國民的自負心は絶えず墨國人の腦裏に漲つて居る。

今日の革命の理想は四百年間司配して居つた大地主制度を破壞して多數の國民が獨立自營の途をひらき、他方に於ては外國人の勢力を排斥して、墨國人の墨國を建設せんとするのである。

されば彼等は白人以外優等人種なしとする白人種の自負心を打破し一等國民となつた日本國を見て心地よく思はざるを得ず、日本人を見て彼等の模範として居るのである。

獨逸人は何れの國に行くも、よく其國民の氣質趣味等を研究して發展の途を講じて行く、彼等が何處にも成功するは之れがためである。彼れは支那に成功した如く、墨國にも成功し、勢力に於て英米人を凌駕せんと勉めて居つた。もし彼等にして、日本人の如く人種關係に於て、歴史的關係に於て、更らに國民性の意氣投合に於て、乘ず可き機會を持つて居つたなら何れほど發展したらうか。

米國政府は一方にモンロイ主義を唱へて自己の保護と利益をはかると同時にフイリッピンを占領し、また清國に勢力を伸張する機會を失はない樣つとめて居る。されば日本もまた東洋のモンロイ主義を唱ふると同時に墨國發展の如き好機は決して忽せにす可からずである。



古跡

第二章　歴史大要

スペイン人が侵入した當時には相當の文明に達して居つたアステック人が居つた、此人種は今日の墨國人の祖先であると云ふ事は既に述べた所であるが、此人種が加州の北部から南へ南へと移住し墨國中部の高原へ達した時代は十一世紀頃と信ぜられて居る。傳説によると、彼等が漂浪して居ると、一羽の大鷲が蛇を啣へてカクタス草の上にをりたので、之れを見て此地に定住れとの神託なる可しと解し、其場所をテノチチトラン卽ちカクタスの場所と名付け、後にはアステック人の軍神メヒトリ

の名にかへた、今日の墨都が其場所であつた。此アステック人はトルテック人を滅ぼし其文明の土臺に自分等の社會を建てたのであるが、彼等は彼等の名を後世に傳へ様と云ふ野心に驅られて、トルテック人の記念物は惜氣もなく破壞した樣に見える。然るにスペイン人が來た時には西人はアステック人の寶は奪去り、持去る事の出來ない文明の記念物等は、アステック人がトルテック人のを破壞したが如く、破壞してしまつた。されば今日に至つてはアステック人の文明を十分に知る事が出來ないがトルテック人に至つては更に知る事が困難である。トルテック人もまた北米太平洋岸の北部から移住し來つたもので、アステック人とは同人種、文明の點から言へばアステック人が建てたものよりは更に勝れた社會を組織して居つたらしい事實のほか多く知る事が出來ない。

スパニシの猛將コルテスが十一艘の艦隊を率ゐてキユーバのハバナを出發したは西暦千五百十九年の二月十日で、墨國へ著いたのが同年の三月十二日、其よりアステック人を征服して主權を掌つたのが千五百二十一年卽ち二箇年後の事であつた。以來千八百二十一年まで三百年間墨國を統御した。土人は全く奴隷の境遇におとしてしまつたが、ラテン人種はアングロアクソン人種の樣に人種的偏見の強くない人種であるので、スペイン人は土人の女子と雜婚したゝめ、スパニシ紛の雜血人が多く出來

る樣になり、今日に於ては此雜血人種が代表的墨國人となるに至つた。純土人は愚昧にして教育するの價値なきものと侮蔑せられたが、雜血兒はヘンテ、デ、ラーソン卽ち道理の解かる人種と呼ばれ、教育も與へられ相當なる社會上の待遇を受けたのである。而して少數な純スパニシ人種はメキシカノ、デ、ラーソン卽ち道理の解つた墨國人と稱して貴族的位地を占め、人種上からは上等中等下等の三人種階級が社會に顯出するに至つたが、既に他の章で述べた如く、今日に於ては劣等人種とせられた土人がいよ〳〵覺醒し、勃興し、雜血人を指導し、スパニシ人をはじめとなし、白人種の勢力を挫き、墨國人の墨國を建設せんと奮鬪して居る樣な機運になつて來た。

スペインより獨立の大動機を與へたはイグナシヤス、イダルゴーと呼ばれた純インジヤンの天主敎僧侶であつた。革命家としての彼れはマルチンルーテルに似た所がある。ルーテルは天主敎の僧侶であつたが獨逸民族のため羅馬法皇の宗敎的壓制から獨立を企てたのであるが、同じく天主敎の僧侶たりしイグナシヤスは墨國人のためスペイン國の壓制から獨立を企てたのであつた。彼れは千八百十年獨立の旗を飜へして墨都に進軍したが、最後には敗北し、捕へられて銃殺せられた。斯くの如く、彼れはルーテルの樣に成功をしなかつたが、彼れの精神は以來輩出した

る多くの愛國者により受繼がれた。

イグナシヤスの意思を直についだのはジヨセ、マリヤ、モレロスと云ふ僧侶で、之れまた純インジヤンであつた。彼れは勇敢な革命家であつたが、衆寡敵せず、また捕はれて、死刑に處せられた。イダルゴーは奴隷廢止の法令を發し、モレロスの議會は之れを承認し厲行し、斯くして此二人は墨國獨立のチヤンピオンとなつた。是れよりブラボー、ミナ、ゲルレロー、ビクトリヤ等の英雄が出で丶革命戰爭をつゞけ、ビクトリヤに至つてはじめて成功し、千八百二十一年漸く西國の羈絆を脫し、獨立國となり、共和政體を執りて憲法を制定し、革命軍の首領グワダループ、ビクトリヤをあげて第一期の大統領にした。

獨立國となり一足飛びに共和政治を實行する事になつたが、最大多數は無學無教育な人民である、又三百年間も奴隷的生活をして居たのであるから、元より自治の念などあらう筈がない。聯邦主義黨と中央集權黨の二大政黨はあらはれたが、政黨とは名義に過ぎず、實は少數者の政權奪合にほかならなかつた。されば選擧に失敗したものは武力に訴へると云ふ次第で、內亂は殆んど絕間なく、多數の利害は措いて問はれず、獨立はしたもの丶、事實上は資力あり智力あるスパニシ人が統治權は振つて居つたのである。

千八百四十六年には米墨開戰し其結果平和條約にて、合衆國は僅かに千五百萬弗を拂うて九十萬方哩卽ち今日の墨國の面積より大なるものを合併する事になつた。墨國人が北米政府の誠意を全く信ぜざるに至り、米人をグリンゴーと罵り排斥する樣になつたは、此戰爭に由來して居れば、此戰爭の性質を知る可き必要がある。

米墨戰爭はテキサスに移住した米人よりはじめられたのである。米人が此州へ入り込み出したは千八百二十一年卽ち墨國獨立の年であつた。此前年にオースチン、モーセスなる人あり、此州へ入り、墨國政府に米人家族三百を此州へ移住させる許可を願出したが、其許可のさがらざるうちに病死したので、彼れが子スチーブン、オースチンと申すが其翌年一隊の移住民を引連れてニューオレンス州から來つた。是れが北米人第一のテキサス植民で、今日のオースチン市が其植民地であつた。

是れより北米人は引續いて移住したが、彼等は墨國政府の命令に服する事を好まず、我儘勝手な行動ばかりとつて居つたので、絕えず事起しの分子となつて居つたが、彼等の我意は益々增長し、千八百三十三年には獨斷的に州憲法を制定し、墨國政府へ獨立州としての編入を願出た。此使命を帶びて、墨都へ行つたのは、オースチンであつたが、時恰も內亂の最中にて、市は無政府の狀態となり、彼れは俘囚として幽閉せられて

しまつた。彼れは同年に釋放せられたが、內心墨國から獨立仕度いものと常に望んで居つた米人は、之れを公然反意の口實になし、其翌年にはオースチンを華府政府へ遣はし、米政府からテキサス州獨立の承認を求めんとなし、他方に於ては墨國の革命家サンタ、アナを後援し、また利用せんとした、然るにサンタ、アナも然者であつたゝめ、米人に利用せられつつあるが如き風をよそほひて、自己の目的を達し、目的を達した後には反つて米人の野心を制せんとした。之れより在テキサス米人と墨國人との衝突となり、アラモーの米人殺戮となり、終には米墨開戰となり、墨國過半以上の合衆國合併となつた。此戰爭の不正なりし事は米國學者もまた多く告白して居る所だ。是れより先き卽ち千八百二十三年には大統領モンロイが彼の有名なモンロイ主義なるものを發表し、歐洲の野心から、米兩大陸にある弱國家を保護する政策を立てた、然るに北米の都合によつては鄰國を合併して怪しまなかつたのである。墨國人而已ならず、南米の諸共和國がモンロイ主義は合衆國帝國主義の假面ではあるまいかと疑ふに至つたのも尤な事である。

千八百五十七年には古き憲法を廢し、合衆國の憲法に象りて編成したものを採用せんとの運動起り自由黨が勝利を得、大統領コモンホルトは放逐せられ、大審院長ベニトー、ウワレスが大統領となり新憲法を採用

し、多くの改革案を通過させた。教會と政治を分離し、此れまで僧侶が振つて居つた政治上の權力を剝奪し、信仰の自由を布告した。是れ特筆大書す可き大改革であつた。

ウワレスは政治上に於ては右の如く大功績をなしたが、內亂また內亂で長らく紊亂して居つた財政は如何ともするの途なく、ために千八百六十一年の議會は外債償還を一時中止するに決したが、之れが佛國干涉に口實を與へ、マクミリアンの三日帝國を立てる樣な騷動となつた。

是れより前敗北せる教會黨はナポレオン三世に好を通じて、墨國に天主教主義の帝國を建設する事を求めて居つたので、ナポレオンは其好機會を窺うて居つたのであれば、機逸す可らずとなし、オーストリヤ國の太公マクミリアンを帝王になさんとし兵を墨國へ繰出した。時恰も合衆國では南北戰爭の酣な時であつたので、容易に其目的は達せられ、マクミリアンは首尾よく帝王になつたが、南北戰爭の終局と共に米國政府が抗議を申込み三世は手を引くに至つたゝめ、マクミリアンは孤立の狀態となり、戰爭に敗北し、捕はれて死刑に處せられた。ウワレスは千八百七十一年再び大統領に選擧せられた。

ウワレスは純インジヤンであり、また共和政治はじまつて以來の名大統領であつたが、彼れよりも更に有名なるはデヤスであつた。ポルフヰリ

ス、デヤスは千八百七十七年臨時大統領にあげられ、千八百八十年の選擧には大統領就職規定に從ひて退いたが、千八百八十八年には再び選出され、以來大統領の就職を無制限とあらため、五回共引續いて當選せられ、千九百十年マデロが革命を起した時まで大統領と云ふは唯だ名のみ、實はヂクテートルの如く墨國を統御したのである。マデロ黨は彼れを專制君主と呼び、大地主の應援者、外人資本家の崇拜者、衆民の敵と罵つた。全く根據のない事ではないが、デヤス去つて以來の墨國歷史は、縱令多くの缺點があつたにせよ、今日の墨國は未だデヤスの如きヂクテートルを要求して居つた事を明かに證して居る。

デヤスは大統領となるや、二つの目的を達せんとした。一は騷亂の分子を根絶する事、二は外國の資金を迎へて墨國の富源を開發することであつた。而して此二目的は完全に達したのである。

彼れがはじめて大統領となつた時には內亂のあとにて山賊等は跋扈橫行し民心を安んずるとが出來なかつたのであるが、彼れが鐵腕は騷亂分子を全く退治し、平和の點に於ては世界何れの文明國にも讓るなきに至らしめた。また財政は紊亂し國家破産の域にあつたを恢復し、彼れが辭した時には外國資金は償還せられつゝ新事業を勃興さするの餘裕あり國庫には六千五百萬弗も遺して置いた。今日に於て人がデヤスの統御時

代をグロリヤスエージ、卽ち榮光時代と稱して居るも道理である。

デヤスがもう一つ大なる貢獻は普通敎育制度を立てた事である。彼が就職當時には一の公立學校だになかつたのであるが、千九百十年には一萬一千の公立學校が出來、百萬以上の兒童が敎育を受けて居つた。敎育に就ては日本を模範にして居つた。彼れ曰く『余は墨國共和國のため公立學校制度を起した。之れ余が國家繁榮の基礎は兒童の能力を發揮するにある事を信じた故である。余が此信念を實證したは日本である。日本が余に敎へたる第一の事は、國家の存在發達に普通敎育より必要なるものはなしと云ふ一事である云々』と。

彼れは斯くの如く墨國の進歩のためには盡し、其功績もまた偉大であつたに關らず、マデロ革命の一擧にて忽ち顚覆せられてしまつたには、また大なる弱點があつたからだ。三十年間も職につき、齡は八十歲にもなつたのであれば、自然保守主義となり、大臣任せとなり、其大臣等もまた老朽者であつた。一方に於ては普通敎育を奬勵したが、敎育を與へ國民が自覺をはじむれば、必らず不平の聲をあげるに相違なき社會制度の改革を怱せにして居つた。世は皆彼れの政治に滿足して居ると考へて居つた間に、敎育普及の結果政府顚覆者を養成しつゝある事を知らなかつたのである。彼れは實際の社會から遠ざかつたので、彼れが國民のため

にした事は反つて惡社會制度を增長させる事になつた事を知らなかつた千八百九十四年には布告を發して土地所有者は役所へ出頭して登記す可き事を命じた所、無學なる賤民が登記の出來ざるを機會となし、狡猾な地主は貧民の地所を皆彼等の所有地に書入れてしまつた。今日の革命者カランサ等がデヤス政府の與へた所有權を無視せんとするは之れがためである。斯くの如くデヤヽ政府は知らずして多數人民の怨嗟の的となつたのである。

社會は大地主と貧民との二階級しか無かつたが、教育は小商人、事務員鐵道會社員等の少數な中等社會を作りだした。彼等はデヤス政府を專制政治と罵り、合衆國の政治に憬がれた。彼れは實際に於て專制君主であつた。其一例をあげんに彼れは一度政府攻擊の新聞記者を獄に投じ、一週間食を與へず打捨て置き引き出して問うて曰く『諸君我政治を如何考へますか』と。新聞記者が『立派な御政治と思ひます』と答へた所、彼れは『諸君どうか左樣思つてやつて吳れ給へ』と言つて放釋したとの事である。

斯くの如く老デヤスは愛國の精神には誰れにも遜色はなかつたが、年老ふるに從ひ保守主義となり、獨斷的となり、衆望を失するに至つたゝめ、マデロが一方に於ては大地主制度を破壞して土地分配を執行すると

約し、他に於ては專制政治を顚覆して共和政治の實をあげんと主張した時に、大多數の愚民と少數の中等社會が、彼れに雷同したので、彼れはよく時に乘じたのである。

マデロは千九百十一年八月衆望を負うて大統領になつたが、土地分配法制定の約を果すことの出來なかつた而已ならず、外人の資本家壟斷を排斥せんと大言した彼れは忽ち米人資本家等の傀儡となり、十五箇月の短日月間にデヤスが遺した六千五百萬弗と歲入一億五千萬弗を消費した上に二億萬弗と云ふ公債を作つた。また意思が薄弱であり決斷力に乏しかつたゝめ、小デヤスの謀反を撲滅することも出來ず、終にはウエルタ將軍からも見捨てられ、牢獄に投ぜられ、悲慘な最後を遂げるに至つたが一時は彼れを救世者の如く歡迎した國民もあまりに注意を拂はなかつた。

千九百十三年ウエルタ將軍は臨時大統領となり、西、英、佛の三國は彼れを承認したが、ウイルソン大統領は彼れはマデロを裏切り慘殺したりとなし、承認を拒み、ウエルタ政府を顚覆せんと起つたカランサ及びヴヤの革命軍を聲援したゝめに、ウエルタは終に倒れざるを得なかつたが、彼れにかはつたカランサとヴヤ將軍は革命上の意見に於て衝突し、兩英雄は再び覇を爭ふことゝなり、何日果つ共見込みの付かざる內亂となつた。合衆國は何時までも其成行に任するか將た兩者一つを承認して

平和恢復をはやめるかの立場となり、カランサを承認するに至つたのでヴヤは大に憤慨し、米墨葛藤を起させ、墨國人の排米思想を利用して自分が意思をつらぬかんとの策に出で、彼れまた墨國一世の英雄なので勢力容易に屈す可らざる故、カランサを承認した合衆國は外國に對してはいよ〳〵責任あり、益々複雜な外交を弄さねばならない羽目に陷つたのである。

第三章　墨國憲法

（千八百五十七年二月制定）

第一條。墨國國民ハ人ノ權利ヲ尊重スルコトカ社會制度ノ基礎又目的ナルコトヲ承認ス。

第二條。墨國共和國ニ生レタル者ハ、皆自由ノ人ナリ。他國ニ在ッテ奴隷タリシモノモ此國ニ入ル時ハ自由ノ權ヲ得又法律ノ保護ヲ受クルコトヲ得。

第三條。教員ハ公費ヲ以テス。

第四條。國民ハ正當ナルモノナレバ如何ナル職業事業ニモ從事スルコトヲ得。各人勞力ノ報酬ヲ享有スルコトヲ妨ク可カラス。

第五條。何人モ刑罰ヲ除キ相當ノ報酬若クハ承諾ナクシテ就働セシムヘカラス。

第六條。道德ヲ攻擊シ人ノ權利ヲ侵シ罪惡ヲ釀シ社會ノ安寧秩序ヲ亂スニアラサル限リ如何ナル思想モ之ヲ發表スルコトヲ得。

第七條。如何ナル問題ト雖モ自由ニ著述シ出版スルコトヲ得。

第八條。平和ナル手段ニヨリ請願書ヲ提出スル權利ヲ有ス。

第九條。正當ナル目的ノ爲メ平和ニ集會シ結社スル權利ハ如何ナル場合ト雖モ之ヲ剝奪セラルヽコトナシ。

第十條。國民ハ正當防衞ノ爲メ武器ヲ携帶スルコトヲ得。

第十一條。何人ト雖モ墨國共和國ニ入リ旅行券、證明書、護衞等ノ必要ナク自由ニ旅行シ住居ヲ轉スルヲ得ヘシ。

第十二條。貴族其他世襲稱號及特權等ハ之ヲ承認セス。

第十三條。何人ト雖モ特別ノ法律又特別ノ法廷ニ於テ裁判セラルヽコトナシ。

第十四條。法律ハ既往ニ溯ルヘカラス。

第十五條。奴隸ヲ引渡ス條約ヲ結フヘカラス。

第十六條。法律上ノ資格ナクシテ人ノ家屋ニ侵入シ、又書類等ヲ侵害スヘカラス。

第十七條。體刑ニ處スヘキモノヽ外投獄ヲ許サス。

第十八條。投獄ノ理由又ハ法律ニ定メタル要求ナクシテ三日以上人ヲ抑留スルコトヲ得ス。

第二十條。刑事裁判ニ於テ被告人ハ左ノ保護ヲ請求スルヲ得。

一、訴訟ノ理由、又告發者アル時ハ其姓名ヲ知ル權利ヲ有ス。

二、判事ノ手ニ渡リテヨリ四十八時間以内ニ豫審ヲ執行セラルヘキコト。

三、被告ヲ告發セントスル證人ト對立サレ得ルコト。

四、被告ノ辯護トナルヘキ材料ハ供給セラルヘキ事。

五、被告ハ自己若クハ自己ノ欲スル辯護人ト共同シ自己ノ辯護ヲ爲ス事ヲ得。

第二十一條。刑ノ適用ハ判事ノ專任トス。

第二十二條。身體ヲ切斷、燒印、汚辱及拷問スル事ヲ禁シ又財產沒收等法外ナル刑罰ヲ禁ス。

第二十三條。死刑ヲ廢サンカ爲メ行政部ハ出來ル限リ速ニ敎誡的制度ヲ採用スヘシ。

第二十四條。刑事裁判ハ三回以上之ヲ繰返スコトヲ許サス（無罪有罪ヲ論セス同事件ニ付）

第二十五條。封印セラレタル信書ハ開封ヲ許サス、違反者ハ嚴刑ニ處ス。

第二十六條。平和ノ時代ニ於テハ兵士ハ所有主ノ許可ナクシテ妄ニ私人ノ旅宿、食物等ヲ要求シ勞役ヲ請求スルコトヲ禁ス。

第二十七條。私有財產ハ所有主ノ許可ナクシテ公用ニ使用スヘカラス。

第二十八條。商工業保護ノ名義ヲ以テ專賣權、又特權ヲ與フヘカラス。

第三十條。メキシコ人トハ

一、內國又外國ニ在リテ墨國人ノ兩親ヨリ出生シタルモノ。

二、法律ニ從ヒ歸化シタルモノ。

三、墨國ニ土地ヲ有シ子供ヲ持チ母國ノ國民ノ資格ヲ主張セサルモノ

第三十三條。外國人。

外國人トハ第三十條ニ規定セル以外ノ人ヲ云フ。外國人ハ有害ト認メタル時ハ何時ニテモ外國ニ放逐セラルヽコトアリト雖モ其他ノ場合ニ於テハ墨國人ト同等ノ保護ヲ受クル事ヲ得。

第三十四條。メキシコ市民權資格及市民タルノ資格。

市民タルノ資格ハ

一、結婚セルモノハ滿十八歲、未婚者ハ滿二十一歲。

二、正當ナル生計ヲ營ムモノ。

第三十五條。市民權所有者ノ特權。

一、票權ヲ有ス。

二、法律上ニ定メタル資格ニ應シ如何ナル公職ニモ選任セラルヽコトヲ得。

三、團體ヲ組織シ政治ヲ討議スルコトヲ得。

四、共和國ヲ保護スル爲メ軍隊ニ入ル事ヲ得。

五、如何ナル件ニ於テモ之ヲ請願スル權利ヲ有ス。

第三十六條。市民ノ義務。

一、住居セル管轄所ニ姓名及職業ヲ登記スルコト。

二、兵役ニ就クヘキ事。

三、投票スヘキコト。

四、選擧セラレタル時ハ政府員ニナルヘキコト。

但如何ナル場合ニ於テモ無報酬ナルコトナキ事。

第三十七條。左ノ事項ニ該當セルモノハ市民權ヲ失フ。

一、外國ニ歸化シタル者。

二、政府ノ承認ヲ經スシテ外國政府ニ事ヘ若クハ官名稱號等ヲ受納シタルモノ。

但シ文學、科學及人道事業上ノ稱號ハ此限リニ非ス。

第三十八條。市民權剝奪又ハ讓與ニ關シテハ法律之ヲ定ム。

第四章　政體及び政治組織

スペインより獨立するや共和政體を採用したが、憲法修正は四回もなし、また其間にも帝國に變じたる事も二回に及び幾多の變遷を經たが、千八百五十七年に制定した憲法は共和國政府の確固たる基礎となつた。然し既に他章に於て述べたる如く共和政治なるものは未だ形式に過ぎなかつた。

聯邦政府の組織は北米合衆國の如く立法、司法、行政の三部で成立し大統領が行政の首である。立法部は代議院 (Camara de Diputa os) と元

老院(Camara de Senad res)の二院に分れ、代議士は人口四萬毎に一人をあげる事になり、總員二百三十三名あり、代議士の改選は二年毎である元老院議員は各州より二名選出し、總員五十六名ある。其任期は四年間で、二年毎に總員の半數を改選する規定になつて居る。

司法部は高等法院(Suprima Corte de Justica)、巡回裁判(Tribunales de Circuits)及び地方裁判所(Juzgados de Districto)より成り、高等法院は判事十一名、代理判事四名、檢事一名、管庫官一名、即ち總員は十七名六年毎に改選するのである。此ほか三名の巡回裁判判事、三十二名の地方裁判判事が司法部に附屬して居る。

大統領の內閣は外務省(Relacionesexteriores)、內務省(Gobernacion)、文部省(Instruccion Publica y Bellas)、開拓省(Fomento)、農務省(Hacienda)遞信省(Comunicaciones y Obras Publias)、司法省(Justicia)及び陸海省(Guerra y Marina)の八省を代表した八大臣で組織せられてある。

大統領は四年毎に選擧せられ、第二期に出づる事を禁じてあつたが、デヤスに至り幾回にても選出せられ得る樣に變更した。また副大統領はなかつたのであるが、デヤス老年になつて任務に耐へなくなつたゝめ、副大統領を置く事になつたが、此職は重きを置かれず外務大臣が事故ある時には大統領の事務を執る樣になつて居る。

各州はまた聯邦政府にならひ、立法、司法、行政の三部にわかれ、行政の首は知事（Gobernadores）であり、州はまたジストリクト即ち郡にわかれ、各郡には郡長（Jefe Politico）が司配して居る。

第五章　敎育

スペイン政府は土人敎育を不得策として打捨て置いたが、天主敎の僧侶は早くより土人の敎育に意をそゝいだ。また總督のうちには幸にして敎育事情に同情するものが多かつたので、敎育は南米や其他のスパニシ植民地より比較的發達した。

千五百二十九年には天主敎が墨都に一單科大學校を設立して高等敎育をはじめた。當時餘裕のあるスパニシ人は子供を皆母國へ送りかへして敎育をさづけたが、貧しき者や雜血兒等には高等敎育を受ける機會がな

い、此必要を充たすため此學校が出來たので、其目的は西人兒童や雜血兒に高等教育を與ふるためであつたが、また普通教育部も置き土人兒童のためにも盡した。

土人の教育に就ては多く言ふ可きものはないが、墨都の教育は其れより大いに進歩をはじめた。千五百五十三年卽ちハーバード大學校設立より八十年も前に諸科完備の大學校も出來、引續き他に二つの單科大學校と一神學校も立てられ、十六世紀頃墨都は新世界のアゼンスと呼ばれたほど學問が盛であつた。千八百二十四年獨逸の碩學ハンボルトが此市を見物した時に『合衆國を除いては新大陸中墨都ほど學術の進歩した地は他にない』と稱贊したが、決して過賞ではなかつた。其後美術學校醫科專門學校鑛科大學工業學校等設立せられ、教育事業は駸々として進むだが、內亂續發のため、惜しい事に中絶するに至つた。

デヤスが大統領になつた時、普通教育制度を起し教育普及につとめた結果、彼れが職に就いた時には一の公立學校すらなかつたに反して退職當時には一萬一千の公立學校が出來、百萬以上の兒童が教育を受けて居つた。元より未だ教育程度はひくゝ、不完全なものではあつたが、老デヤスが教育に盡した功績は著るしいものであつた。

教育普及に大障害をなしたは天主教である。其はじめ西國政府が土人

教育を欲しなかつた時に之れを起したは天主教の僧侶であつたのであるに、普通教育制度に反對するに至つたとは如何にも矛盾して居るが、元來彼等は教育其物のために教育したのでなく、宗教傳播のため教育したのであるから、公立學校が出來知識が進めば、從つて迷信がなくなり、彼等僧侶の勢力がなくなる譯である故、愚昧な父母に宗教のない公立學校へ子供を送るは、可愛子供を惡魔の子にするのであると、嚇しては公立學校へは送らず教會の學校へよこさす樣な策をとつた。教會學校なるものは日本の昔の寺小屋にて日常の讀書きを教ふるに過ぎず、教會の信仰問答でも出來れば立派に卒業になるのである。

カランサが天主教の勢力を挫く策をとり、僧侶は頻りにルーズベルトに訴へ、ルーズベルトは墨國の宗教迫害を打捨てゝ置くウィルソン政府を無神經となし無能となし、讒謗を極めたが、實際のところ、天主教の迷信的足械から自由にせざれば、教育の進歩普及は期せられない。

墨國が今日まで二三十年間の發達をかたるものは、必ず老デヤス內閣を謳歌するのであるが、それは墨國の物質的方面ばかり見たからで、デヤスが最も重きをおいた普通教育に於ても、彼れでは積極的にはやれない立場にあつた、千八百五十七年新憲法が制定せられた時大統領となり大改革を行ひ、政治上から直接僧侶の權力を奪つたウワレスが千八百七十年

二回目の選擧に出た時教會側の後援を得て反對派の大統領候補に立つたは老デヤスであつた。されば彼れが主義に於ては日本の教育制度を實行せんとして居つたが、教會との緣故上思ふ存分に出來なかつたのである。ウイルソン大統領がデヤス系の政府に同情なく、一時的の平和には頓著せず、ウエルタ政府を承認せられなかつた事は、疑ひもなく教育問題がまた一大原因であつたと思ふ。

第六章　宗教

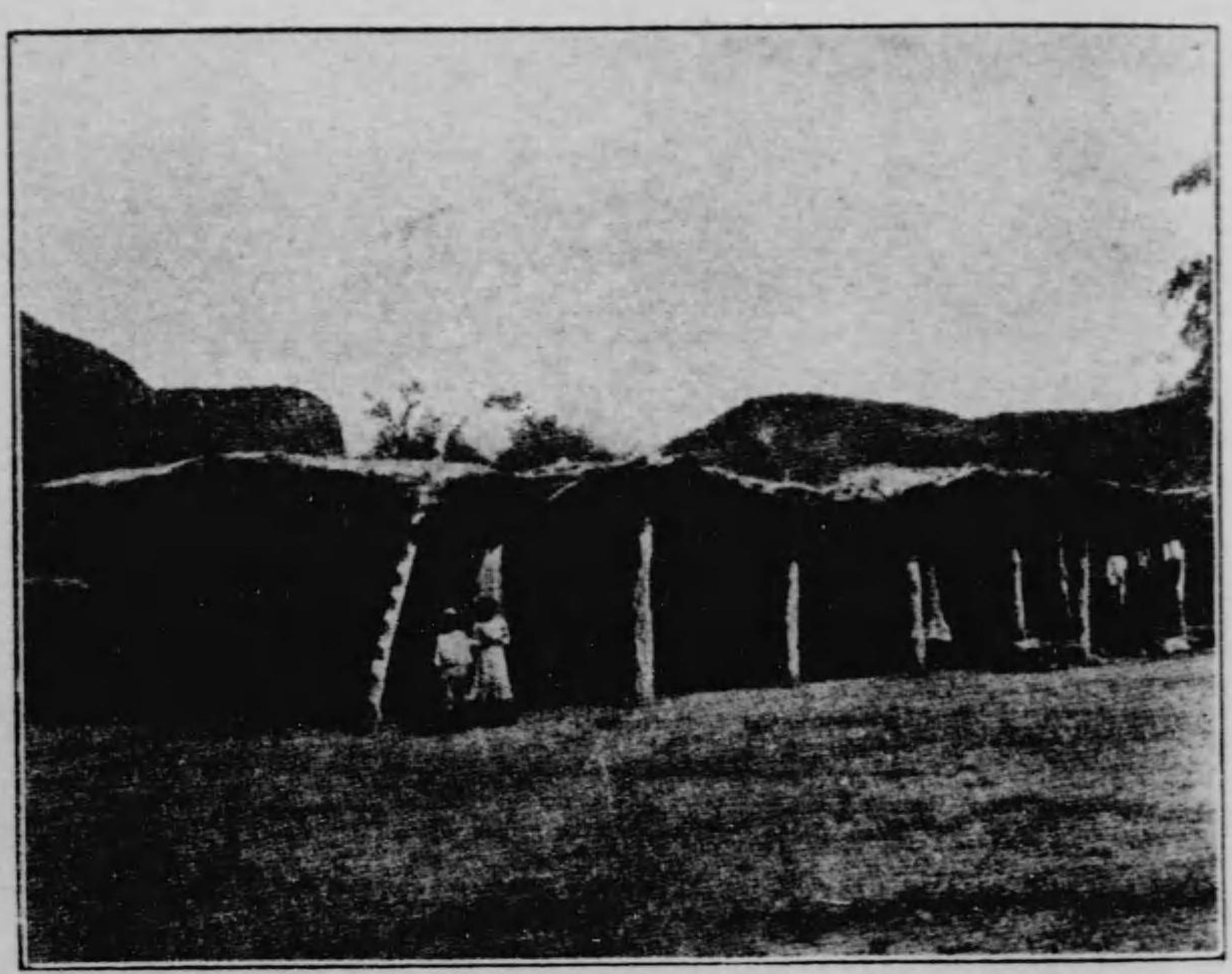
何れの地へ行つても周圍に比して夥しく壯大華麗なるは寺院である、また寺院には建築物として文明國に誇る可きものが少數でない。スペイン人は三百年間墨國の富を吸收したが、僧侶は其富の一部を寺院と云ふ建築物に結晶せしめたのである。百年前頃墨都の寺院などは四五億萬弗の財産を有し、政治上にも大勢力を振つて居つたがウワレスの改革以來表面上は減退したが、愚民の思想を支配して居る僧侶の勢力は今尙ほ驚く可きものである。

僧侶は其職務として説教禮拜葬式等をするは勿論であるが、寺區內の事なら何でも知つて居り、何でもするのである。喧嘩の仲裁、子供の教育、結婚の媒介、土地賣買の世話、訴訟の手續きに至るまで相談を受ける。土地の登記などは今日の場合あまり當にならない故、僧侶が頭のなかの記錄で審らべて買ふ方が故障がないのである。僧侶は普通教育普及の妨害者であるとは教育の章で既に述べたが、結婚式を教會の有利な收入として居るので、之れに於ても法律を無視させ、社會に弊害を及ぼして居る事が少なくない。米國では牧師が結婚式をつかさどり、其れから登記するのが一般になつて居るが、墨國では教會の結婚を認めず、法律上で認めなければ、正當な結婚としない。所で、人々が左樣すれば教會の收入がなくなる。其れで法律などで結んだ結婚は神の前何の役にも立たない、結婚は是非共教會でしなければならないと說き聞かせて居る。然らば貧乏人には無料でしてやるかと言ふに、中々左樣でなく、彼等の生活程度では甚だ困しき結婚費を要求する。其結果教會の結婚もせず、登記も怠つて居るので、正當な子である可きものが私生兒となつてしまふのが甚だ多いと言ふ事である。

社會の指導者たる可き僧侶が右の樣であれば賤民階級の迷信は甚しいものである。日本の田舍家に大神宮をはじめ諸々の神々の守護符が神棚

にならべてある如く、何れの家にも天主教の聖人の偶像等が澤山あり、馬が盗まれたとか、家族のものが病氣だとか云ふ事が起ると、其偶像に祈願する、いくら祈つても效力のない時には、偶像を水中に眞逆樣に浸して、さあ之れでも盗人を出さないか、病人をなほさないかと、苛責する、實に滑稽と言ふ可しだ。また日曜日のほかに聖人等の祭りが多く、年中働き日よりは遊び日の方が多い位である。

大多數の賤民は無學無能憐れむ可きものであるが、ターナー氏の言の如く、彼等は天性が愚昧と云ふのでなく、其罪は全く封建的な大地主制度にあるのだが、其罪はまた天主教にもあるのである。迷信深き彼等は地主に對する樣不滿は感じて居ないが、經濟的に地主から壓制を受けた樣に、組織的には天主教の壓制を受け、精神の萎縮をしたのである。



下流社會と上流社會の生活

第七章　風俗生活狀態及氣質

既に他章で述べた如く、教育の結果今日に於ては官吏、會社員、エゼント等となり、または獨立な小事業を經營し、相當な家庭維持の出來る中等社會なるものがあらはれる樣になつたが、大體に言へば少數な地主と賤民と二階級しかない社會と云うてよい。憲法上奴隷は禁じて居るのである故、ピオンとて名義上は一箇の國民であるが、實際は奴隷と言うてよく、でなければ土地の附屬物と言つてよい。大地主の土地なるものも地境が畫然とついてをるのでなく、主人自身がどれほどあるかわから

ないものが多い、或一部が開拓されたり牧場に使用されて居るだけで他のところは原野として打捨てられて居る。其原野のうちには土人が村落をなし、先祖傳來の地所の如く思つて居る所も少なくないが、榎本植民地の出來た時の樣に何日か地主が外國人などに賣渡し、他へ移住しないと軍隊で追拂ふ樣な事もあるのである。

地主社會即ち上流社會に就てはとりわけ言ふ必要がない。彼等は贅澤な生活をなし逸樂を事として居る遊民であつて、生活狀態は歐米の富豪と大差はないが、大なるものは封建時代の大名とも言ふ可く、チワワ州のテラサ方族の如く最大なるものになると一小國の王とも言うてよい。彼れは五百萬英加と云ふ莫大な土地の所有者である。

されば上流社會はさておき、一般に墨國人と呼んで居る。ピオン社會の著物から語らんに、男子は一般に白リンネルの上衣とズボンだけで足には靴をはいて居るがズボンを膝まで捲り上げ跣で居る事が多く、頭には緣色で甚だ緣廣の藁帽子を被つて居る。此藁帽子は彼等が簡便生活の表號とも言つてよい。

代價は四五ペソもなし、一般の物價に比して頗る高いが、世界何れの國へ行つても墨國人の帽子位重寶なものはあるまい。其廣い緣は日よけになるばかりでなく、草木の茂て居る森林などへ這入る時には樹の枝や

草など搔分ける役をする。主人が草臥れた時には此帽子は頭からとりおろされて御尻に敷かれる。火を燃す時には之れで煽ぎ立て、水を運ぶ時にはバチッツの役をなし、水を飲む時にはグラスの代用もする。また市場で野菜でも買ふと此中に投入れて家に運ぶし、そして用のない時には頭の上に載せられて、主人の威風を添へて居る。斯くの如く利益を數へ立てれば四五ペソは決して高くはない。

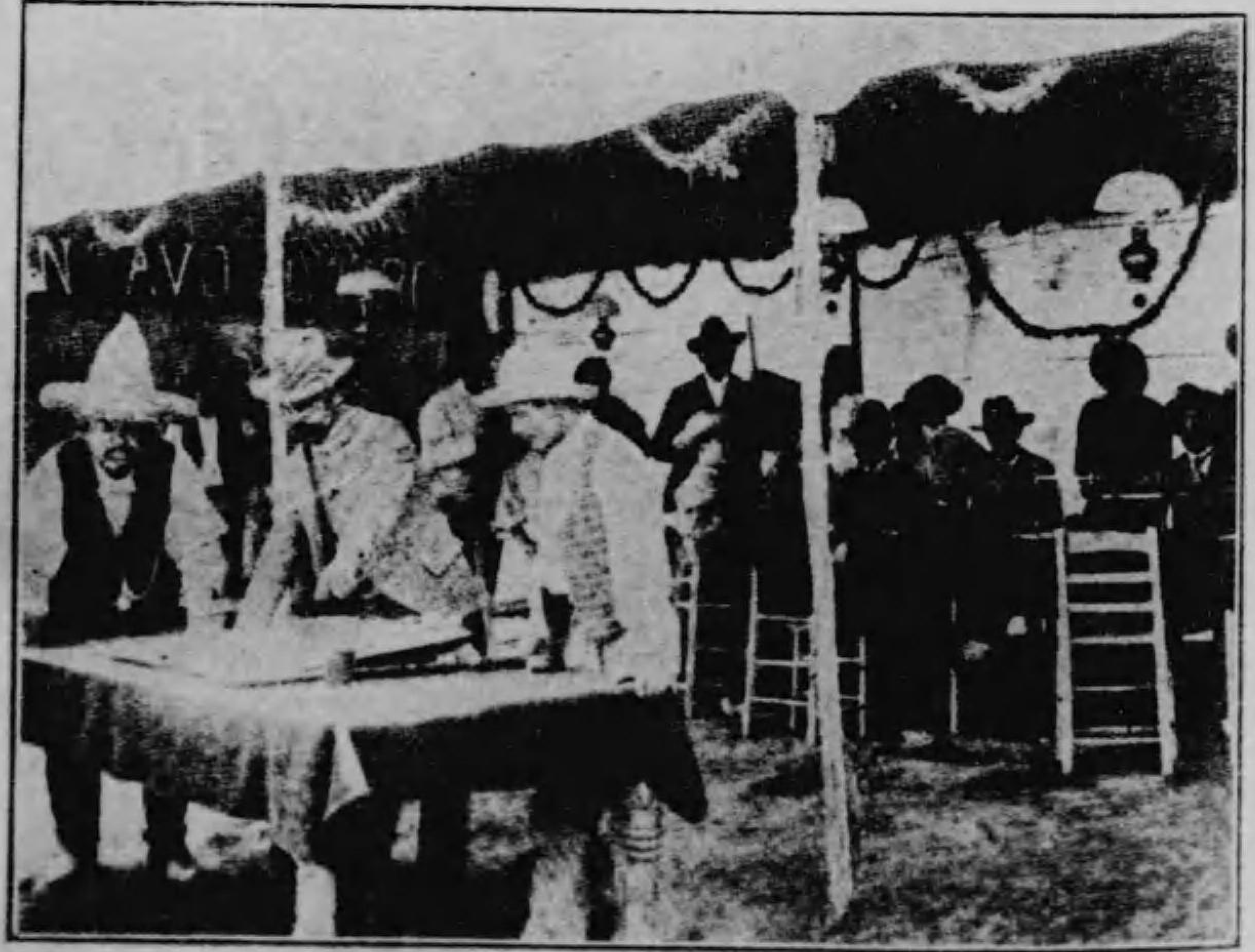
此ほか墨國人に是非共必要なものは赤ブランケットである。晝間は折つて肩へ掛けられて意氣な風になされ、朝晩の涼しい時には其れで身體を巻き、または其れに穴をあけて首をつき出し、簡便なオーバーコートとなり、夜になれば、布團夜具の代用となる。女子はあつさりとした著物をつけ、男子が赤ケットを用ふる様に黒色または青色のショールを用ふる。之れを頭から被つてボンネットの代りになし、ベビーでも連れて旅行する時には之れを嬰兒の腰にまきつけ、野菜物など買ふ時には之れで包み、ショールが装飾と使用を兼て居る事男子の帽子とブランケットに遜色ない。

縁廣の帽子、赤ブランケット、黒、青ショールがよく示して居る如く、賤民の生活は萬事が簡便主義である。上流の人は大厦高樓に住んで居るが、彼等の家は棕梠の葉を切つて屋根を葺き、周圍は丸木を竝らべ立て

て壁となし、床には敷物なく、チエヤ二三脚、テーブル一つ、此上に四角な枠にキャンバスを引張り、カットベッドの樣なものがあれば贅澤な方で、多くは床にケットを打擴げて、其上に眠り、朝になれば片付けるのである。氣候の暑きがため、壁は極めて厚い土塀にして居る所が多く或地へ行くと藁葺屋根にして居る所もあるが、其れになると日本の農家と少しも異ならない。

どんな物を食つて居るかと言へば、トルラヤと呼んだコーンミルを手でのばし、土器の上で燒いてパンケーキの樣にしたものに、フリホレス(豆)とポテトーと少しばかりの牛肉とを混合せ、チリペッパーで味をつ

トルテヤ作り



とばく

けてコックしたものを、トルテヤを割いては其れでつまみ、丸めては食するのであれば、ナイフやホークを用ふる必要はない。彼等が一般に嗜む酒はプルケと稱しカクタス草の一種マゲイ（龍舌蘭）からとる酒である。また西海岸の墨國人はテキラと呼ぶアルコール精分の強いものを飲んで居る。酒は極めて好きであるが、プルケやテキラよりもつと彼等の日常生活に無くてならない物は煙草である。朝から晩までシガレットでも燻らして居れゝば、彼等は彼等の生活に滿足して居るのである。
氣候はよく土地は肥え、豆や胡椒などは種さへ蒔いて置けば自然が作つて呉れるし、餘計に働らいた所で地所持になり、また金持になれると

云ふのでもない。彼等には文明人の樣に生活に齷齪する必要はない、酒を飲み煙草をふかす金がなくなれば働き、少しでも金が出來れば遊ぶと云ふのである。其れで彼等の生活主義はマニャニャ主義と云ふのである。マニャニャと云ふは明日と云ふ事だ。彼等の諺にマニャニャ、セラ、オートラ、デヤ卽ち『明日はまたよい事が來るだらう』と云ふ事がある。今日しないですむ事ならマニャニャ、マニャニャとて明日にのばしてしまふ、否な明日ばかりでなく、一時間でものばすを得意として居る。さればマニャニャ主義は明日主義でなく、今やらん主義とする方が適譯である。

上流社會の風俗を見ると、女子の方の服裝が甚だ質素であるに反して、男子の方が一般に扮裝をてらして居る。女子の教育は日本風で米國の女子の樣に自由に外出を許されず、家にあつて母の家政を助力するが當然の任務とせられて居る。其れで祭日などの時上流社會の淑女の外出を見るに、米國婦人の樣に流行に憂身をやつす樣な所は見えないが、男子は遊冶郎的風をして徘徊したり、また之れ見よがしに著飾つて行列などして居る。文明社會にあつては男子の活動を刺激するものが少なくないが、富は足り活動的でない彼等の社會にあつては、富豪の青年などは我昔の丹次郎的生涯をして居るのが人生の快樂として居るのである

男子の交際が米國の樣に自由でなく、女子は箱入娘的生活をして居る

墨國のロメオ・ジユリエット

のでゝ戀人が女子に接近せんとする方法はすこぶる古風である。ロメオがジユリエットを訪問した樣に、美人の窓側へ忍び行き毎夜歌曲でも奏して情意を通じ、交際をもひらく樣にするのである。

上流社會が快樂として居るのは何れの國も同く芝居などであるが、米國のベースボール我相撲の樣に上流は勿論賤民は食事を略しても見に行き度と思ふほど盛な競技はブールファイト卽ち鬪手戲である。金持貧乏人皆其れ〴〵賭事をするので、男子には面白いかも知れないが、此殺伐な競技を上流社會の女子などまでが、快樂として居るのは外國人には不思議に感ずる。

戀愛演劇手鬪等を上流社會は人生の快事として居れば、マニャニャ主義で同じく生活問題に齷齪する必要ない賤民社會がまた酒に耽り、鷄鬪をさせたり、骰子を振つたり、女子にたはむれたりして終日暮らして居るのも無理はない。然し上流社會にはまた秩序や制裁と云ふものがあるが、ピオン社會は男子は一室にケットを擴げて横はると云ふ狀態であるから、從つて子供などが男女の關係などを早く知るに至り、男兒は十五六歳になると年長の婦人など追廻す樣になるが、下等社會に於ては女子の道德は比較的堅固である。

墨國人は懶惰で噓付きで、其上こせ〱泥棒をよくして、殺伐を好み迚

も濟度し難き國民であるとは米人が一般に言つて居る所である。表面から見た所は事實左樣である、然し之れは彼等の天性とは言へぬ。彼等は强者の壓制を絶えず避け樣とする立場にあり、いくら働いたとて、働いた果は强者に奪はれるので、なる可く働かない方が得と云ふ樣な考を抱くに至りマニャニャ主義となつたのである、また地主などは大泥棒であると云ふ樣な思想を持て居れば、隙があれば彼等の畝などにあるものは攫浚ふを當然とするに至り、また體面上などを補ふため虛言を呈する事になつたので、斯る惡癖が第二の天性の樣になつたのである。本來の性質でない故、境遇が異なれば此等の缺點は去つてしまふ。加州では墨國人を使用して居る同胞も澤山增えまた增加するばかりであるが、其同胞に聞いて見れば、兎ても日本人の樣にはやくはないが、日給だけの事は十分に盡し、使ひ樣に依つては中々よく働き大に信賴が出來ると言ふ一般の評である。

彼等は鷄鬪の樣な慘酷な快樂が好きで、今日は是れにつき明日は彼れにつき、ピストルや鐵砲でも與へれば始終內亂の生涯を送つて居るを望む殺伐の民の樣であるが、實際は平和な民である。今日の如き內亂の場合には平和な仕事をしてゐては食つて行かれず、兵卒になつて居れば、危險は比較的少なく、氣樂にやつて居られるからの事である。時に慘酷に失

するが如きは子供が蝶々の羽根をむしつたりなど殺生の好きな様に、彼等が無思慮な無邪氣がさせるに過ぎない。

彼等の日常の言語を聞くと、人を賛むる時にはシンパチコと云ふ語を使用する。卽ちあの人は同情心の深い人であると云ふ事である。彼等は同情心があり過ぎて困る位である。憐れなものと見れば自分の無いのに何でもやつて救け様とする。少しく財産でも出來ると遠い緣者の世話までしてなくしてしまふ。人が一つ何かして呉れるなれば二つ何かして返さねば氣がすまない。友人のためには物質上の助力は勿論生命を投げる事も惜しいと思はない。實に賴もしい所がある。既に教育のあるものが將來有望な國民となつた如く、社會制度が改革せられ彼等に自重心が起る様になれば、今日歐米人から輕蔑せられて居る墨國人は立派な國民になれるのである。

RELIEF MAP OF
MEXICO
SHOWING
PRINCIPAL CITIES
UNITED STATES
GULF OF CALIFORNIA
PACIFIC OCEAN
GULF OF MEXICO
CENTRAL AMERICA
CULIACAN
DURANGO
SALTILLO
MONTEREY
S LUIS POTOSI
GUANAJUATO
GUADALAJARA
MEXICO
TOLUCA
PUEBLA
VERA CRUZ
ACAPULCO
TEHUANTEPEC

第八章　地形、氣候、動物、植物

墨國の形を見ると北米と國境になつて居る北部が擴がり、南部に向ふに從つてせばまり曲り、角の中に果實が盛りあげられた豐饒の表標なる（澤山角）と云ふ物によく似て居る、獨逸の碩學ハンボルドは墨國を指して（世界の寶藏）と呼んだが其形がコルニユコピヤに似て居る事實は將來の爲めに目出度い前提である。

墨國の面積は實に七十六萬五千五百三十七方哩、人口は千九百十年の統計に依ると千五百〇六萬三千二百〇七人即ち一方哩に平均十九人と六

分の割である。然し北部地方や熱帯地方の人口は一方哩僅か二三人當になつて居る所が多い。

地勢上から言ふと西は太平洋と加州灣、東はメキシコ灣に對し、東西北の沿岸は平坦で兩側面より中央に入るに從び漸次に高まり、中部には中央平原と呼ぶ高原あり、海拔四千尺乃至八千尺ある。此山嶽多き墨國は又平原も多く、其平原も次第々々に高まりつゝある故、海拔何千尺と云ふ高原に登つても左程の高地とも思はれない。

此國内に二大山脈がある、一は東側、他は西側にありて北から南へ走つて居る。東にあるものはシラマデレ、オリエンタルと呼ぶ、日本語に譯せば東母山となる。西にあるものはシラマデレ、オクシデンタル卽ち西母山である、墨國人が此兩山脈に斯る名稱を與へたは、彼等が此二つの母山に左右より抱かれ保護せられて居ると云ふ意にとつて居るのである。

國の形狀が右の樣であるから、從つて大川が少ない、土地は階段があり水路は早瀨や瀑布等が自然多いので、船行に適するものが餘りない。最大のものはリオ、グランデー(他名をリオブラボー)で、其長さが千五百哩、北米コロラド州に其源を發しニユーメキシコ州を通過しエルパソ市のそばを流れ、其れよりは米墨天然の國境となり大西洋に注いで居る是れに次ぐはリオ、レルマ(一名リオ、サンチヤゴ)長さ八百六十九哩、太

平洋岸のハリスコ州を横ぎりて海に入る。此川はグワダラハラ市から十六哩の所に墨國ナイヤガラと呼ばれる大瀑布をなして居る、次は四百二十六哩のバルサス川で、川幅も可なりあるが淺瀬や急流があるため汽船の航行は河口から僅々四五哩以內である。加州灣におちて居るフエルトヤヤキ川は小船なら可なり上流迄往復される。遠距離迄往き來の出來るのはプエルト、メキシコ（其意メキシコ門）の港に注いで居るコアトサコアルコスと其他グリハルバ及びウスマシンナの二川である。

氣候は又地形上から定まり、南に近い故暑く北に寄から寒いと云ふのでなく、地の高低にて區別される、其故墨國を熱、溫、寒帶の三部に分る事が出來る。熱帶地は海岸から海拔三千尺位迄を云ひ、平時の溫度は八十度から八十八度を往來し、最も暑き時は百五度乃至百十度に昇る。此熱帶地域にあるうちで東海岸のベラクルス、カンペチエ、タンピコや西海岸のガイマス、マサツラン、マンサニヨ、アカプルコ等の市は生活に適した地で將來有望な處である。

溫帶地は三千尺から六千五百尺あたり迄をさす。氣候は平均七十三度から七十七度、變化が多少あるにせよ六、七度とは違はぬ。濕氣で毒蟲が出たり、天候が急に變つたりする事なく、實に墨國中最上の地である熱帶產と溫帶產の植物が一緒に繁茂し、小麥と甘蔗が鄰合つて生えて居

る、西岸ハリスコ州の首府グワダラハラは此地帯の代表地である、或詩人は此地方を（十月がゝつた五月の氣候）と稱揚した。

寒帯地は六千五百尺から雪のあるほとり迄をさす、其れより以上になると寒氣が氷點以下に降る事屢々で生活には困難である。されば此地域を寒帯と呼ぶものゝ其れは海岸の地帯に比較して言ふに過ぎない。溫度は平均五十九度から六十二度であれば、さして寒いと云ふでもない。首府メキシコは海拔殆んど八千尺もあるが、棕梠は戸外に榮え夏季などの心地よき事得も云はれず、冬になり北風襲ひ降雪のある際にも二十九度邊が止りである。トルカ市の如き山の中になると寒き時には二十度位まで降る事がある。左樣な地方でも山の北面は雪が有つても南側は植物茂り朝戸外に寒氣を感じても正午頃には陽際に這入ると云ふ氣候である。

されば墨國にては一年を四季に區別するが如き事は出來ない。強て季節に分けんとせば降雨季と乾燥季の二季である、降雨は五月より十月、他は乾燥季に屬す。緯度二十七より北部は北米合衆國南部の氣候に類似して居る。降雨は甚だ不平均にて、東岸部の山嶽地方には烈しく、メキシコ灣より來る風が絕ず山口を濕氣にて包む、之れに反して西海岸の下加州の北部、ソノラ地方は甚だ乾燥し、風は吹けども雨をもたらす事甚だ稀である。之れが爲め平原が全く瘠土になつて居る。中部の高原はソノラ

低加州の樣に乾きて居らず、時には雨も降る。蒸發力が甚だ急なる故餘り降雨の利益がない。

動物植物

墨國には南米の北部や中部に居る多種の動物が居る。猿は少なくも五種類居り、大はジヤグアブマ、オセツト、狼、カヨテ、大野猫、穴熊、水獺、貘、猪、鹿、山羊、箭猪、兎、小は栗鼠、カンガロー等より蜥蜴類、蛙、蛇に至る迄其種類甚だ多し、乾燥地にはラットルスネーキ多く又蟒の居る所もある。沿海や沼澤には海龜が孵化のため襲來し、其小さきを捕るが大利ある事業の一つになつて居る。下加州には海豹の來る所あり、又此沿岸には貴重なる眞珠も多く産す、魚類も非常に多く特に沿岸にはアリゲータ、前記の龜類多數居るも未だ事業としては發達して居らぬ。

墨國は又獸類、魚類の外に鳥類の樂土とも云ふ可き處で、其種類の多い事は獸類の比でない。そして此國の鳥類は羽毛が美しいので名高い。

墨國で農業をなさんとする人々の注意を要するは蟲類である。何から何迄富んで居る墨國は、又蟲類に於ても然りで、蝶々、甲蟲蛾等夥しい、熱帶地方は雨季になると蚊、蚤をはじめ種々の惡蟲發生し身體をなやます。蠅のうちには動物の皮膚に孵子をすりつけ、其れが孵化すると其人

體や牛鳥の皮を腐蝕させる毒性なのがある。蜘蛛も又之れに相似て居るが最も我々を驚すは蟻の多い事で、此蟻のうちには、蟻の農業家とも稱せられる種類が居る。之れは種々の葉を集めて腐らし、菌を作りて食物にあてる。蟻に依つて農作物に大害を被り樹木に損害を及す故、農業家は單に地質と水のみならず、此蟻の種類を研究して其豫防を講ずる必要がある。斯の如く枚擧すれば毒蛇あり毒蟲ありて恐る可き地の樣思はるれども、こは熱帶地を利用する際の事にして附記して注意を促す迄である尚又蜜蜂は種類も多數あれど性質よく、從つて蜜は甚だ安價である。

植　物

墨國に際だちて夥しきはカクタス草で、此草は到る所に發育がよい此草から墨人の甚だ好む酒プルケがとれる、他の種類からは麻が製されユカタン州などにては大事業になつて居る。高地には槲、松、杜松、扁柏が不變の綠を示し、低地の雨量多き所にはマガーリヤ、巴豆、荊球花、楓葉、栗、竹等が繁茂し、熱帶地には何處にもバーム多く桃花心木、紅木、柏等の良材木を初めとして醫藥及び染料に使用さるゝ植物等其數擧ぐ可からず。

玉蜀黍は何所にてもよく生ず、植物學者の說に依ると墨國は此植物の根元地で有つた樣にも思はれる。ピーン、ペッパー、バナヽ、葡萄、水

瓜、オリブ、オレンジ、レモン、トメトー、梨、コーコナット等野菜、果物、穀物、熱、溫、寒帶地產の植物が高原と云はず中、低原に同時に生長し又實つて居る、世界廣しと云へども墨國の如き生產地は甚だ稀であらうと思ふ。

なかみせ

地方の巡査隊

第九章　各州各領土の面積人口氣候地勢産物

墨國は二十七の聯邦州、三つの領土及び聯邦政府所在區で成立つて居る。領土はまだ人口不足又其他の條件が足りない爲め、聯邦州たる資格がなく、聯邦政府が直接又は間接に統轄して居るものを云ふ。即ち低加州、テピック及びキンタナールの三つである。聯邦政府所在區は合衆國で言へば華府政府の有るコロンビヤと同性質で、墨國政府のある所故、聯邦州の政府から獨立させ中央政府が直轄して居る地である。

是より各州各領土に就き同胞のため必要と思はれる事情を簡單に述べ

んとするのであれば、便利上墨國を西岸、中部、東部の三大地帶に分ち、北米の同胞に最も近き低加州から說き起し、順を追うて西岸諸州を北から南に、後中部州を述べようと思ふ。而して墨國の進步發達を說かんとせば、最も進步したる主要な州を委しく述べ、其れに應じて他の州を說くべきであるが、著者の目的は在米同胞の爲めに書いた書であるから安達公使が同胞發展の理想と稱せられた西岸諸州を比較的委しく述べ、其內でも特に有望と思はれるシナロワ、テピック及びハリスコ等には成るべく多く紙面を與へた。

各州の面積人口の調査等は千九百十年以來內亂の爲め公表せられた物が無いが、レイダー博士は千九百十二年墨國政府で審らべられた物を擧げられた故余は其れを採用した。又首府の人口は以前の分と最近の調査を竝べ擧げた。千九百十年の調査と近時のものとを比較すると各州內地の人口が減じて、首府の人口は一般に增加して居る。內亂の爲め合衆國に逃げて來た者も澤山あるし、又國內にとゞまる者は首府の市街に住するを安全としての結果であらう。

西部諸州

低加州

此領土は北米加州より南に延長した半島で同胞には下加州として知ら

れて居る、墨國三領土の一で聯邦政府の直轄になつて居る。半島の長さ八百哩、其最も廣き所百八十七哩、面積は五萬八千三百二十八方哩、人口四萬七千六百二十四人卽ち一方哩に對して一人に足らない。

小山脈が北の端から南の果迄中央を走つて居り、山の高き所は海拔六千百七十九尺である、山々は鑛脈に滿ちて居るが水がなく又運搬の便が無い故遠き將來迄寶の持ち腐れと云ふ可し。全體から云ふと山が多く平原が少なく加ふるに灌漑の水が乏しい故農業地としては望みはないが彼所此處に散在して居る小平原は霜も降らず同胞の得意な野菜農に適すると思ふ、甘蔗、玉蜀黍、煙草等成長甚だよく、又葡萄、オレンジ等の果物にもよい、牧畜業は必ず確實な利がある。

地形上氣候が三つに畫然と區別される。中央の地方は甚だ暑く、加州灣に降りたる東岸は尙ほ激烈に暑く生活に堪へられないが、北部の西側に寄りし太平洋に面したる一帶の地は氣候よろし、特に加州のサンデコに近き地方は加州よりもよい。加州の帝國平原に鄰れる所は低加州中の大平原で、暑さに於ては帝國平原よりも暑くあるが地味はよく、特に棉花事業に適す、此地に居る同胞は此事業をなし大に發展を始めて居る。

主なる港は加州灣の側ではラパスとサンタロサリヤ、太平洋岸ではエンセナダである。下加州は二つに別れて居りラパスが南部の首府で人口

千七百人、エンセナダが北部の首府で人口三千人あり、此市はサンデコより程近いため歐米人が入り込み、ためにラパスよりは開け方が速かである、此他マグダラ港の如きも近來は大に人の注意を惹く地となり、有望な未來を持つて居る。

ソノラ州

北は合衆國東はチワヽ州に境し、西は加州灣に面し、面積七萬六千六百十九方哩、大さに於ては墨國第二の州である。人口は十九萬千二百八十一人卽ち一方哩に二人半の割合、他言すれば一人に六百四十英町當になつて居る。

東部の方は山又山と云ふ地で加州灣の方に至るに從ひ低い平原になつて居る。此山地方の水路などはまだ探見が届いて居らぬが、昔時は此地方が此州のうちで開けて居つた樣信ぜらるゝ、アステック人の古跡なども多く、又採掘せられた鑛山も多くある。山間の狹谷にはアルタル、ソノラ、サンジヨセ、ヤキ、マヨ、アラモス等の諸川と幾多の小流が平原を潤し、水の十分なる所は生產力甚だ豐富で、農業家や園藝家のためには樂土と云つてよい。

州の氣候を大體に示せば、三つに區別する事が出來る、山地は寒く沿岸は暑く中部は溫帶、中間は農牧兩業に適して居る。此州は金銀銅鐵等

の鑛物に富み、鑛業州として墨國第一位に居るが、廣漠たる肥沃の平原あり川多くして水利の地、加ふるに氣候もよければ將來農業地として墨國中相當の地位を占むる事は疑ひない。

農產物は麥、小麥等の穀類、煙草、甘蔗及び果物である、果物は特にオレンジに宜しく、每年北米に輸出する。

ソノラ鐵道はワイマスとノガレス間を走り、太平洋線はナコの國境停車場から此州に入り込み、エスピー鐵道はワイマスから南方へ行きてシナロワ州の首府クリヤカンへ交通して居る。

首府エルモシヨは合衆國々境から百八十四哩、人口は千九百十年には一萬四千五百十八人、今日は二萬以上になつて居る。豐饒な農園で圍まれて居る美しい市である。之れに次ぐはカナネア市で人口凡二萬、次は人口一萬五千あるワイマス港であるが、此港はエスピー鐵道の商業地となり居り、工業地としても重要な地位を占め將來は有望な市である。

シナロワ州

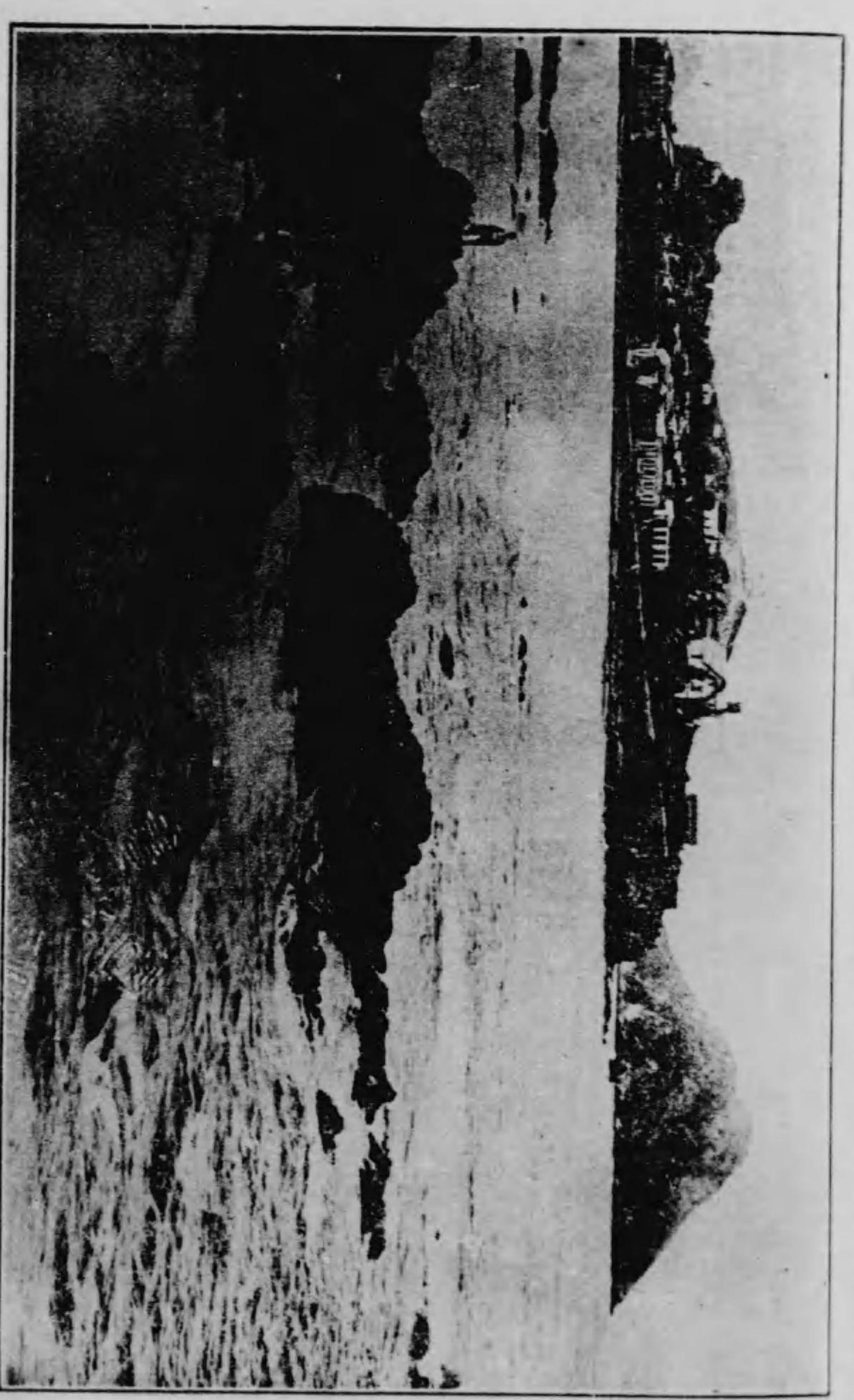
ソノラ州の南に鄰する此州は面積三萬六千一百方哩、人口は二十五萬八千八百六十五人卽ち一方哩に八人以下である。

東北部及び南部は高いシラ山脈で圍まれ前は加州灣に面して居るので地形上他の地方から隔離せられて居る故、白人が此州の鑛山に富んで居

る事と、平原の豐饒なるを發見したは近代の事である。

氣候は沿岸の低原は暑く、西の方シラマデレ山脈地方へ登りたる高原は寒い。沿岸地方は雨が多く又降雨時季には最も暑い。溫度は七十度から九十度を昇降して居るが、九十五度から百度以上を示す事も折々ある　農作物の爲めによい事は霜と氷雨の無い事である、山地方に至つては氣候の變化も急激で霜も屢々降る、然し首府クリヤカンのある中部は生活するに氣候よし。

此州は墨國中で最も灌漑の便が備つて居る、北の方にはフエルト川が流れ、川と同名な美しい市邑が其岸にある、此タウンのある所は海拔八



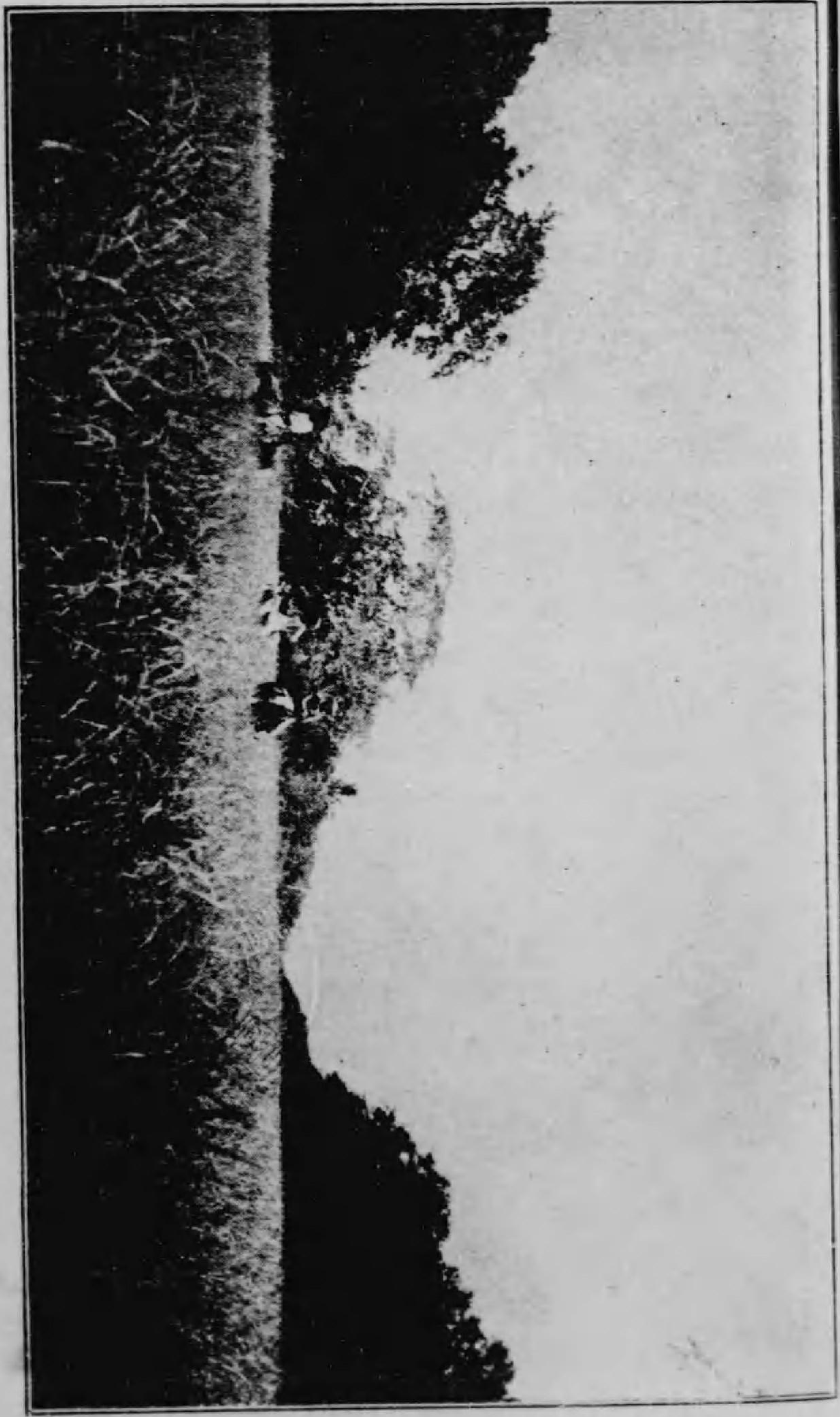
シナロワ州マサトラン港

百三十尺ばかりで、是より海に下つて行く迄川の兩側には甚だ豐饒な平原が擴がつて居る。次はシナロワ川で海拔千八百五六十尺許りな所に此所にも同樣川と同じ名の市がある、此川には幾多の支流がありて平原を潤して居り、まだ此他にエロタ、ピサトラ、プレシデオ、チヤメトラ等の川があつて全州に水を注いで居る、其れに地は洪水の爲めに堆積した沃土で農業地として申分がない、只遺憾な事には交通機關が不足な爲め、大部分は荒廢に委せられて居る、然し前には大洋をひかへクリヤカン市からアルタ、港迄鐵道がかゝつて居る、エスピー鐵道は全州を橫斷して居るし、マサツラン港は淺いが工事を加へれば西海岸では最良港の一つ

になる。聯邦政府も工事のために千二百萬弗を投資する決議をしたのであるが、内亂のために其儘になつた。然し平和になれば再び此決議を斷行し有力なる港になる事と信ぜられ、英米獨佛人は未來を望むで既に莫大な地を買占めて居る。

首府クリヤカンは千九百二年に人口一萬三百八十八人、同十年には一萬三千五百七十八人、現今は二萬を有する美しい市であるのみならず、又美人の多いので名高く、西岸のサラトガと呼ばれた事もある。

農產物は沿岸の熱帶地と中部の溫帶地には何でも出來ると云つてよい特に玉蜀黍、ビンズ、煙草、チエツクピー、甘蔗、棉花、珈琲、果物等



西海岸テピックジャナロワの原野

によい。

テビツク領

面積僅に一萬一千二百七十五方哩の小地區で、元はハリスコ州に屬して居たのであるが、千八百八十四年其州から分離せられテリトリーとなつた。人口は十五萬百五十七人、卽ち一方哩に十四人程を有して居る。

地勢はシラマデレ山脈が東南及東北に連なり、山嶽起伏し西南の海岸に下りて平坦になつて居る、而して山間よりはサンペドロ、サンチヤゴ、グランド、及アカポネタ等の諸流が出で、それに幾多の支流が附屬して平原を潤して居るから、墨國中灌漑の最もよく行き渡つて居る地である。

テピック鑛山景

されば金銀銅鐵等の鑛業が盛んなるのみならず、農業地としても生產力甚だ豐富で有利な地である。農產物の種類極めて多く、雨が多量にある故灌漑法を備へずとも一年に二回の收穫をとる事が出來る、灌漑の用意宜しければ三回の收穫も敢て難い事ではない。

氣候沿岸は暑く中部は溫帶、山地方は例の如く寒いが、全體の氣候はよく又土地も肥えて居る故農業に適するは勿論である、牧畜業にも甚だ宜し、豚の產出は墨國第一である、他の家畜類に於ても他州に勝れて居る。

首府テピックは墨都から五百哩の地點にあり、噴火山の麓にありて景

色壯絶なるに於ては西岸第一の市である。人口は千九百二年に一萬五千四百八十八人、同十年に一萬六千八百五人、現今は二萬一千人ある。

ハリスコ州

面積三萬八千四百方哩、人口百二十七萬四千五百五十八人即ち一方哩に三十四人の割である。

東部にはシラマデレ山脈横たはり北と東北は山又山、中央には東南、東北に擴がつた大平原がある、此平原にはトロロラン川が流れて居る、此川の源はメキシコ州のレルマコに發して居る故、一名レルマ川とも呼ばれ行く〳〵多くの支流を合してグアナフアート州の南を流れ、ミチヨ

アカンとハリスコの兩州を分ち、此平原に注いで來る。長さ五百四十哩、首府グアダラハラより程近き所に墨國のナイヤガラと呼ばれて居る大瀑布も即ち之である。

山脈　水脈の關係より此州ほど種々變化した氣候を持つ州は他にない又全體の氣候景色、地質水利物産等の諸點より總括して最良なる州と言ふに躊躇しない。

農産物の主なる物は玉蜀黍、小麥、菽豆等である、千九百十二年の産出を示せば、蜀黍が一千八百萬ブッセル、小麥が三百萬ブッセル、菽豆百萬ブッセルと算せらる、其他オリヴ、アニオン、ポテート等は高原最も適し二囘の收穫を得る所少なからず、レモン、オレンジ、フヰッグ、グレープ等の産地としても名高く、珈琲、甘蔗、棉花等も盛んにて此州の農業を委しく述る餘白が無いが、東部の平原を指して墨國の倉庫と稱せられて居る一事で其價値が推察せられる。又此州は農業許りでなく牧畜州としても墨國州中の二三に數へられる、現今六十六萬三千七百二十七頭の牛を有す、豚は七萬六千五百二十九頭、羊は六萬七千百七十四頭、斯の如く殆んど凡ての家畜に於て數に於ても質に於ても勝れたる牧畜州である、土地の開け行くも早く公有地は一英町三弗六十仙にて拂ひ下げをしたが忽ち之れを中止する事にした。

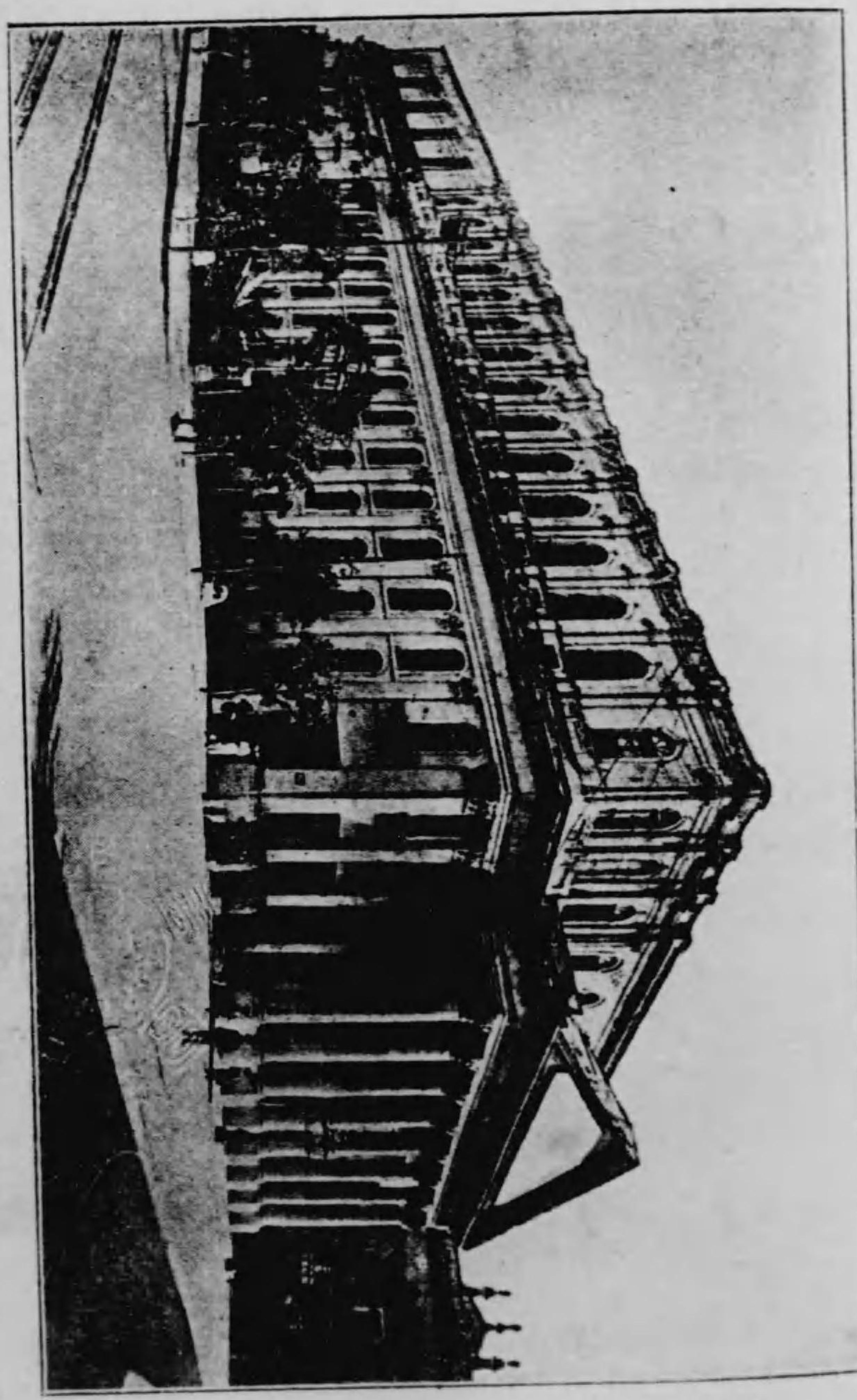
首府グアダラハラは墨都の西北三百八十哩の地にあり、太平洋より遠からず、墨國中最美最潔で愉快な市であると評せられる。人口は千九百二年には十萬一千二百〇八人、同十年には十一萬八千七百九十九人、現今は十二萬五千と算せられて居る、されば大さは墨都に次いで居る、墨都と此市と比較して見ると前者は古い市で古跡に富み、市街の家屋は時代の必要に應じては改造し增築して來たので、何となく古雅な所があり落著いた色がある、後者は生活するに愉快な當世風の氣分があり又氣候のよいに於ては遙かに墨都にまさる特長を持つて居る。

此市は唯に美しい點許りでなく商工業の繁榮なる英米の事業家あり銀行大商店ありて之れを示して居るのみならずレルマ川の大瀑布を利用し水力を使用して居る故工業は大に盛んであるが、普通工業市に見るが如き煙筒等のない故甚だ清潔である。

鐵道は東に於ては此市と墨都と交通を開き、北に於てはシナロワ州のマサトラン港、南はコリマ州のマンサニヨ港と通じて居る故地勢上甚だ發展によろし。

コリマ州

此州はハリスコ州とミチヨアカン州の間に夾まつて居る小さな州で面積は唯二千七百方哩、人口六萬九千五百四十九人即ち一方哩に二十六人



ハリスコ州グワダラハ市の劇場

足らずである。

此州の南部にはシラマデレ山脈の枝條が横ぎつて居り俗に云ふ山だらけである、又此北部にはコリマと呼ぶ海拔四千三百七十八メートルの噴火山がある。米國大陸中で現に活動して居る噴火山は此山ばかりである。

一百哩にわたる海濱は鹽を多量に貯藏して居る、砂地であれば鹽事業の爲には非常に利ある所であるが、沿岸一帶の地は餘りに暑く健康によろしくない。然し中部の平原にはアメリヤとコアコアバの二川が潤すので農業地として甚だよい。地形上太平洋から風が來ないため日中は甚だ暑いが朝夕の氣候は心持ちがよい、全體から云へば水も行き屆き地味も

よく多種の農產物を出す、特にコリマの珈琲と云へば米國には未だ知られないが、獨逸の市場では評判がよい。

墨國中央鐵道がグアダラハラ市から此市を通過し、マンサニヨ港に達して居る。此港には諸國の船舶來つて貿易し、日本からも東洋汽船が往航する。輸出品は米、珈琲、護謨、果物、良材、染料、獸皮、及び鑛物である、輸入品は羊毛、木綿、玉蜀黍、絹物、食料品、ガラス、酒類、兵器、彈藥等である。

首府コリマは墨都から五百六十九哩、コリマ川のほとりにある、其人口は千九百二年に二萬六百九十八人、同十年に二萬千百四十五八人と增加

したが現今は二萬三四千に減少して居る。

ミチヨアカン州

面積二萬二千八百七十四方哩、人口は千九百十年の調査に依ると九十九萬一千六百四十九人であつたが其以來未だ調査がない。彼の調査に依れば一方哩に四十六人强である。

メキシコ州から擴がつて居るシラマデレの支脈が此州を二分して居る山は或は高く或は低く、北に下り小丘となり美しい高原をつくつて居る、また連山の兩支脈の間にはメスカロー川が流れ、此の川のために名づけた美しい平原もある。山多きが爲め外見した所農業地があまり無い樣であるが、實は然らず、大小の川や湖水があり水の供給がよいので此等の平原の外山間にも豐饒な小平原があり農業州として甚だ有望である。遺憾な事には交通機關が甚だ不足して居る爲め、此富源は開拓せられず農業は極く舊式な遣り方で土人がやつて居るに過ぎない。

此州は水が多いけれ共、濕氣の爲めマラリヤ等の病氣をかもす事はないから將來植民地として大に發展する事が出來る、果樹栽培にも牧畜業にも墨國中有數の地である。

首府モレリヤは墨都から二百二十七哩、ピコ、デ、キンセと呼ぶ高さ一萬九百八十五尺ある山の東南にあり、氣候は寒さの平均が六十二度、

同じく暑さが七十五度と云ふよい土地である。此市は昔時一英雄が起り革命戰爭の中心になつたので名高い、モレリヤは其英雄の名をつけたのである。此市には墨國第一と稱せられて居る壯大華麗な寺院があり、其他女學校、專科大學、圖書館、博物館等の文明の機關が備はつて居る。人口は千九百二年には三萬七千二百七十八人、同十年には三萬九千百十六人、現今は四萬以上ある。

此州は景色にも又富んで居り、其うち最もよろしきは此州とハリスコ州の間にあるチヤパラ湖で、此湖の三分の二は此州に屬し、其邊は絕景で亞米利加大陸の瑞西と稱せられて居る。

ゲルレロー州

面積二萬二千七百方哩、人口四十一萬七千六百二十一人卽ち一方哩十八人强。

山脈は西南西北に走り、全州を殆んど二つに分割し、北はメスカラの低原を作り、南は山と平原で入り交りたる大高原をなして居る、氣候はタスコの地方は溫和、メスカラ低原キイグアラアラ南シラマデレの麓迄は暑く、其南端からコスタグラデの海岸は暑氣甚し。

海岸線は三百十哩も延長して居るが、港に適する所はアカプルコ港の外にない。然し此港は長さ三哩幅二哩、水底深くして景色よく世界の良

港に數へられて居る。昔時は之が西海岸の唯一な港で、三百年前日本の船が二回も大歡迎を受けたは此港である、今日では鐵道の連絡がない故主要な地位を他に奪はれてしまひ、それがため此州の發達も遲いのであるが、墨都からバルサスまでは鐵道が出來て居り、其所より此港まで布設の計畫は既に成つて居る、完成の曉には墨共和國中輕からざる地位を占むる事とならう。

農業地として此州は少しも發達して居らぬ、作物は他州に劣らぬ種類を產するも、今日では唯だ地方の需要に應じて居ると云ふ丈けに過ぎぬ、然し早晩交通機關が設備さるゝと此所彼處に良農園や良牧場が出來る許りでなく、まだ探見の屆いて居らぬ山々からは良材、鑛物を澤山出す事と信ぜられる。

首府チルパシンゴーは墨都から百九十八哩、鐵道はコクラ湖の邊にあるバルサス市まで來て居るが未だ此市まで達せず、バルサスと此市間はよい道路で連絡して居るに過ぎない、されば繪の樣に美しい市ではあるが發展がおそく、千九百二年には人口七千四百九十七人同十年には七千八百四十八人、其後はまだ調査がないが大した增加はないであらう。

オアサカ州

面積二萬八千四百方哩、人口八十八萬四千九百九十八人、一方哩三十一人半